

別冊

# 藤沢市市政運営の総合指針2020

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

## 事業集

<平成29年度～平成32年度>  
(平成29年度版)

藤 沢 市

## はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

## 第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
  - (1) めざす都市像
  - (2) 基本目標

長期的な課題、視点に基づき、歴史、価値等を踏まえた都市の姿、長期的政策目標を展望

## 第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 まちづくりテーマ
- 3 重点施策
- 4 重点施策実現に向けた財政見通し
- 5 評価
- 6 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

### 別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

### 別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

## 目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
(1)	体系別事業数	6
(2)	体系別事業費見通し	7
(3)	款別事業費見通し	8
(4)	性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	12
(1)	まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」	16
(2)	まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	28
(3)	まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	41
(4)	まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる	54
(5)	まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める	81
5	地域づくり	110
	○六会地区まちづくり事業	111
	○片瀬地区地域まちづくり事業	114
	○明治地区まちづくり事業	117
	○御所見地区地域まちづくり事業	119
	○遠藤まちづくり推進事業	121
	○長後地域活性化事業	123
	○辻堂地区地域まちづくり事業	125
	○善行地区まちづくり事業	128
	○湘南大庭地域まちづくり事業	129
	○湘南台地域まちづくり事業	131
	○鵠沼地区まちづくり事業	133
	○藤沢地区まちづくり事業	134
	○村岡いきいきまちづくり事業	136



## 1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」として、別冊に示します。

### 重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

## 2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。

### まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

#### 1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 41 住宅環境整備事業費(鵜沼住宅)
- 51 橋りょう改修費
- 61 橋りょう架替事業費
- 71 一色川改修費

#### 2 危機管理対策の推進

- 11 大規模震災等対策強化事業費

#### 3 防犯・交通安全対策の充実

- 11 防犯対策強化事業費
- 21 商店街経営基盤支援事業費(街路灯LED化・防犯カメラ)
- 31 自転車駐車場整備費

### まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

#### 1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

- 11 オリンピック開催準備関係費
- 21 (公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費  
(オリンピック・パラリンピック関連事業費分)
- 31 ビーチバレー大会開催関係費
- 41 都市親善費

#### 2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出

- 11 シティプロモーション関係費
- 21 誘客宣伝事業費
- 31 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費
- 41 郷土文化推進費(藤澤浮世絵館の管理運営事業費分)
- 51 (公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費  
(文化プログラム等事業費分)

- 61 文化行事費
- 71 アートスペース運営管理費
- 81 江の島地区周辺整備事業費

### まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

#### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 11 児童支援体制充実事業費
- 21 校務支援システム構築事業費（小学校）

#### 2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所施設整備助成事業費
- 21 市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）
- 31 法人立保育所運営費等助成事業費
- 41 放課後児童クラブ整備事業費
- 51 小児医療費助成事業

#### 3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 子どもの生活支援事業費
- 21 子ども・若者育成支援事業費
- 31 就労支援事業費（ユースワークふじさわ）
- 41 奨学金給付事業費

### まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる

#### 1 多様な主体による支援の充実

- 11 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 地域生活支援事業費（相談支援事業）
- 41 介護人材育成支援事業費

#### 2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費
- 31 公園改修費

#### 3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 市民活動支援施設運営管理費
- 21 公益的市民活動助成事業費
- 31 市民協働推進関係費

- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 六会地区まちづくり事業費（公園改修費地域執行分含む）
- 61 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 71 明治地区まちづくり事業費
- 81 御所見地区地域まちづくり事業費
- 91 遠藤まちづくり推進事業費
- 101 長後地域活性化事業費
- 111 辻堂地区地域まちづくり事業費（道路維持管理業務費地域執行分含む）
- 121 善行地区まちづくり事業費
- 131 湘南大庭地域まちづくり事業費  
（道路維持管理業務費・道路改修舗装費・公園改修費地域執行分含む）
- 141 湘南台地域まちづくり事業費
- 151 鵠沼地区まちづくり事業費（公園改修費地域執行分含む）
- 161 藤沢地区まちづくり事業費  
（緑地改修事業費・公園改修費地域執行分含む）
- 171 村岡いきいきまちづくり事業費  
（道路改修舗装費・公園改修費地域執行分含む）

## まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 11 庁舎等整備費
- 21 労働会館整備費
- 31 善行市民センター改築事業費
- 41 辻堂市民センター改築事業費
- 51 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 61 鵠南小学校改築事業費
- 71 六会中学校屋内運動場改築事業費
- 81 公共施設再整備関係費
- 91 公共資産活用関係費
- 101 都市マスタープラン等関係費
- 111 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 121 健康と文化の森整備事業費
- 131 長後地区整備事業費
- 141 市道新設改良費（藤沢 652 号線）
- 151 市道新設改良費（バリアフリー事業）

### 2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 総合交通体系推進業務費

### 3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

- 11 健康の森保全再生整備事業費
- 21 自然環境共生推進事業費
- 31 地球温暖化対策関係事業費

### 4 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

- 11 住宅政策推進費
- 21 空き家対策関係費
- 31 新産業創出事業費
- 41 ロボット産業推進事業費
- 51 地域密着型商業まちづくり推進事業費
- 61 担い手育成支援事業費

### 3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

#### (1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	1 1
2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	1 2
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	1 1
4 健康で豊かな長寿社会をつくる	3 4
5 都市の機能と活力を高める	2 5
合 計	9 3

※ 重点事業には予算を伴わないものも含まれています。

※ 現在、一般会計事業のみを重点事業としていますが、重点施策、重点事業の強化を図るため、特別会計事業についても、今後の行財政改革の取組効果等を踏まえながら、毎年度の見直しの中で調整していきます。

## (2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見通しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,095,602	1,672,439	1,405,873	1,094,404	5,268,318
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	347,243	455,990	2,066,215	1,067,488	3,936,936
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	2,149,726	2,766,458	2,938,284	2,924,050	10,778,518
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	600,235	706,507	723,533	785,399	2,815,674
5 都市の機能と活力を高める	19,042,579	9,872,039	12,292,953	12,080,521	53,288,092
合 計	23,235,385	15,473,433	19,426,858	17,951,862	76,087,538

表 2 体系別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	434,319	907,447	844,882	705,568	2,892,216
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	322,903	335,303	513,502	459,308	1,631,016
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	1,787,325	2,091,698	2,536,764	2,573,590	8,989,377
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	423,952	461,791	477,117	512,489	1,875,349
5 都市の機能と活力を高める	1,417,414	2,067,192	1,296,010	2,249,007	7,029,623
合 計	4,385,913	5,863,431	5,668,275	6,499,962	22,417,581

### (3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	15,766,181	2,744,800	6,667,374	1,200,328	26,378,683
環境保全費	26,717	44,826	46,366	35,666	153,575
民生費	2,261,501	2,862,381	3,027,464	3,031,395	11,182,741
衛生費	125,020	599,434	854,576	571,819	2,150,849
労働費	1,849,931	2,582,081	16,884	16,884	4,465,780
農林水産業費	24,240	28,740	30,990	30,990	114,960
商工費	178,317	194,247	176,364	180,817	729,745
土木費	2,571,937	5,638,820	7,352,540	10,824,764	26,388,061
消防費	14,637	26,122	25,976	24,200	90,935
教育費	416,904	751,982	1,228,324	2,034,999	4,432,209
計	23,235,385	15,473,433	19,426,858	17,951,862	76,087,538

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	1,025,685	360,094	321,629	328,422	2,035,830
環境保全費	16,286	40,246	41,786	32,166	130,484
民生費	1,794,402	2,069,086	2,507,409	2,556,145	8,927,042
衛生費	109,873	142,080	170,422	170,981	593,356
労働費	23,197	99,161	16,884	16,884	156,126
農林水産業費	1,340	1,340	1,340	1,340	5,360
商工費	171,728	186,304	172,897	177,350	708,279
土木費	858,775	2,462,217	1,798,227	2,349,717	7,468,936
消防費	1,020	6,109	2,463	3,587	13,179
教育費	383,607	496,794	635,218	863,370	2,378,989
計	4,385,913	5,863,431	5,668,275	6,499,962	22,417,581

#### (4) 性質別事業費見直し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見直し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	5,189,450	6,457,489	3,754,772	3,825,933	19,227,644
投資的経費	18,045,935	9,015,944	15,672,086	14,125,929	56,859,894
合計	23,235,385	15,473,433	19,426,858	17,951,862	76,087,538

表 6 性質別事業費見直し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 見積額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	2,680,517	3,144,787	3,085,534	3,170,865	12,081,703
投資的経費	1,705,396	2,718,644	2,582,741	3,329,097	10,335,878
合計	4,385,913	5,863,431	5,668,275	6,499,962	22,417,581

#### 4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。

予算事業は、複数の重点事業に関係していたり、再掲となったりしている場合があるため、事務事業は次ページの体系順と前後することがあります。

事業の説明は平成29年度の予算事業に関する内容を記載しています。

- ※ 事業費については、平成29年度は予算額、平成30年度～32年度は事業見積額です。
- ※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業経費のないことを、空欄となっているものは今後事業費を積算することを表しています。
- ※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。



# 藤沢市市政運営の総合指針 2020 体系別事業一覧

体系コード	事務事業名	課名	頁
<b>まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」</b>			
1	災害対策の充実		
11	防災設備等整備事業費	防災政策課	16
21	危機管理対策事業費	危機管理課	18
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	19
41	住宅環境整備事業費(鵜沼住宅)	住宅政策課	20
51	橋りょう改修費	道路維持課	21
61	橋りょう架替事業費	道路維持課	22
71	一色川改修費	河川水路課	23
2	危機管理対策の推進		
11	大規模震災等対策強化事業費	警防課	24
3	防犯・交通安全対策の充実		
11	防犯対策強化事業費	防犯交通安全課	25
21	商店街経営基盤支援事業費(街路灯LED化・防犯カメラ)	産業労働課	26
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	27
<b>まちづくりテーマ2 「『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」</b>			
1	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		
11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	28
21	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費(オリンピック・パラリンピック関連事業費分)	スポーツ推進課	30
31	ビーチバレー大会開催関係費	スポーツ推進課	31
41	都市親善費	人権男女共同平和課	32
2	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出		
11	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課	33
21	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課	34
31	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	観光シティプロモーション課	35
41	郷土文化推進費(藤澤浮世絵館の管理運営事業費分)	郷土歴史課	36
51	(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費(文化プログラム等事業費分)	文化芸術課	37
61	文化行事費	文化芸術課	38
71	アートスペース運営管理費	文化芸術課	39
81	江の島地区周辺整備事業費	江の島地区周辺整備担当	40

まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

1	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進		
11	児童支援体制充実事業費	学務保健課	41
21	校務支援システム構築事業費（小学校）	教育総務課	42
2	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実		
11	法人立保育所施設整備助成事業費	子育て企画課	43
21	市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）	子育て企画課	44
31	法人立保育所運営費等助成事業費	保育課	46
41	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	47
51	小児医療費助成事業	子育て給付課	49
3	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実		
11	子どもの生活支援事業費	子ども家庭課	50
21	子ども・若者育成支援事業費	青少年課	51
31	就労支援事業費（ユースワークふじさわ）	産業労働課	52
41	奨学金給付事業費	教育総務課	53

まちづくりテーマ4 「健康で豊かな長寿社会をつくる」

1	多様な主体による支援の充実		
11	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	地域包括ケアシステム推進室	54
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	55
31	地域生活支援事業費（相談支援事業）	障がい福祉課	57
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	58
2	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		
11	健康づくり推進事業費	健康増進課	59
21	がん検診事業費	健康増進課	60
31	公園改修費	公園課	61
3	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
11	市民活動支援施設運営管理費	市民自治推進課	62
21	公益的市民活動助成事業費	市民自治推進課	63
31	市民協働推進関係費	市民自治推進課	64
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	65
51	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	67
61	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	68

体系コード	事務事業名	課名	頁
71	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	69
81	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	70
91	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	71
101	長後地域活性化事業費	長後市民センター	72
111	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	73
121	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	75
131	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	76
141	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	77
151	鵠沼地区まちづくり事業費	鵠沼市民センター	78
161	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	79
171	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	80

## まちづくりテーマ5 「都市の機能と活力を高める」

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	庁舎等整備費	管財課	81
21	労働会館整備費	産業労働課	82
31	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	83
41	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	84
51	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	85
61	鵠南小学校改築事業費	学校施設課	86
71	六会中学校屋内運動場改築事業費	学校施設課	88
81	公共施設再整備関係費	企画政策課	90
91	公共資産活用関係費	企画政策課	92
101	都市マスタープラン等関係費	都市計画課	93
111	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	94
121	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	95
131	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	96
141	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	97
151	市道新設改良費（バリアフリー事業）	道路整備課	97

### 2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	総合交通体系推進業務費	都市計画課	98
----	-------------	-------	----

### 3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

11	健康の森保全再生整備事業費	西北部総合整備事務所	99
21	自然環境共生推進事業費	みどり保全課	100
31	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	101

体系コード	事務事業名	課名	頁
4	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備		
11	住宅政策推進費	住宅政策課	102
21	空き家対策関係費	住宅政策課	103
31	新産業創出事業費	産業労働課	105
41	ロボット産業推進事業費	産業労働課	106
51	地域密着型商業まちづくり推進事業費	産業労働課	107
61	担い手育成支援事業費	農業水産課	108

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 06			防災危機管理室 (新課名：防災政策課)		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	260,665	18,450	12,877	118,600	2,000	108,738
平成28年度	99,392	3,000	4,829	0	6,000	85,563
対前年度	161,273	15,450	8,048	118,600	△ 4,000	23,175
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				18,450
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				12,877
	(地方債)	防災施設整備事業債				118,600
	(その他)	防災ラジオ売払収入				2,000
<p>・防災備蓄資機材等の整備・充実                      &lt;拡充事業&gt; ・津波避難対策の充実・強化                      ・防災対策の充実・強化</p> <p><b>【施策等を必要とする背景】</b>                      市は、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として、地域の防災に関する計画を作成し、これに基づく施策を実施する責務を有することが災害対策基本法に定められている。                      藤沢市地域防災計画において、神奈川県地震被害想定調査結果に基づき、想定地震による避難者数の想定を大幅に見直したことによる備蓄資機材の充実を始めとして、様々な災害に対する備えの強化・拡充を図る必要がある。</p> <p><b>【提案に至るまでの経緯】</b>                      平成26年 3月 「ふじさわ防災ナビ小冊子版～みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編～」を市内全戸配布                      平成27年 3月 沿岸3地区の住民と協働し、まちあるきやワークショップ、津波避難訓練等の実施により避難経路と避難場所の検証を行い、地域ごとの津波避難マップを作成                      平成28年 2月 スマートフォン版「ふじさわ防災ナビ」リリース                      平成28年 4月 神奈川県企業庁から藤沢市に江の島配水池の土地が無償譲渡され、その跡地に耐震性飲料用貯水槽の整備を検討                      平成28年 4月 藤沢市地域防災計画の改訂（想定避難者数187,980人→237,900人）                      平成28年 9月 平成28年度分防災ラジオを市民頒布（約2,300台）                      平成28年 9月 危険ブロック塀等防災工事補助金制度を施行</p> <p><b>【市民参加の実施の有無とその内容】</b> 有                      住民とまちあるきやワークショップを経て、津波避難訓練等の実施により地域ごとの津波避難マップを作成するとともに、藤沢市津波避難計画に市民意見等を反映させた。</p> <p><b>【市の策定する計画や条例との整合性】</b>                      藤沢市地域防災計画に基づき実施する。</p> <p><b>【将来にわたる効果及び費用】</b>                      1. 将来にわたる効果                      災害時に必要な防災備蓄資機材及び避難場所等の整備・充実により、市民の災害に対する不安軽減が図られる。                      2. 将来にわたる費用                      防災備蓄資機材を十分に確保するには、中長期的な取組となるため、計画に沿った整備費用が毎年必要となる。また、防災備蓄資機材を配備する防災備蓄倉庫等の整備費用も必要となる。</p>						
【事業費（事務事業中の重点事業分）】						新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充	
260,665	490,547	271,376	211,376	1,233,964		

## 【事業概要】

災害時に必要な防災備蓄資機材及び避難場所等の整備・充実に図り、市民の災害に対する不安軽減を目的として対策を推進する。

(拡) 1. 防災備蓄資機材等の整備・充実	117,883 千円
・アルファ米、長期保存食（ビスケット）、粉ミルク、紙おむつ、簡易トイレ、マンホールトイレ洋式対応キット、毛布等の購入及び諸経費	49,633 千円
・防災備蓄倉庫点検管理等業務、防災拠点管理業務	3,505 千円
・防災備蓄倉庫の更新	11,988 千円
・江の島耐震性飲料用貯水槽設置工事（平成29年度から2カ年継続事業）（拡充事業）	52,757 千円
2. 防災ラジオの市民頒布	8,105 千円
・災害時等において、防災行政無線と連動して、レディオ湘南から発信される緊急放送等を自動受信することができる防災ラジオ1,000台の購入及び頒布	
(拡) 3. 津波避難対策の充実・強化	25,994 千円
・津波避難ビル設置用簡易トイレ・処理袋等の購入	12,792 千円
・津波避難施設整備事業費補助金	10,000 千円
・下藤が谷ポンプ場津波避難施設基礎調査委託等（拡充事業）	3,202 千円
4. 「ふじさわ防災ナビ」の普及・充実	5,250 千円
・転入者等に配布するため、「ふじさわ防災ナビ小冊子版～みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編～」の増刷	1,167 千円
・災害時に災害情報等を迅速に発信する、スマートフォン版「ふじさわ防災ナビ」の保守管理業務	4,083 千円
(拡) 5. 防災対策の充実・強化	103,433 千円
・危険ブロック塀等防災工事費補助金	5,250 千円
・江の島防災カメラ更新工事（拡充事業）	92,999 千円
・危機管理システム データ更新業務	5,184 千円

（この事業は平成28年度6月補正で増額した事業）

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 08			防災危機管理室 (新課名：危機管理課)		
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	4,556		1,518			3,038
平成28年度	0		0			0
対前年度	4,556		1,518			3,038
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				1,518

【事業概要】

災害時に迅速な避難及びその後の住民の生活支援を実施するため、危機管理対策事業を実施する。

- 津波避難経路路面標識設置業務 3,240 千円  
津波防災対策の一環として、藤沢市津波避難計画における「津波避難路」等を対象に、津波避難ビルなどの避難目標へ向かう経路の方向案内を行うための路面標識を作成し、避難の起点となる箇所や交差点等に設置する。

平成28年度設置予定数 35箇所  
平成29年度設置予定数 50箇所

- 海拔表示公共小型看板更新業務 1,016 千円  
地震に起因し発生する恐れのある津波被害に備え、市民等の避難指針とするため、東京電力パワーグリッド株式会社が管理する電柱に設置された海拔及び津波注意喚起を表示した小型看板を更新する（市内全1,000箇所）。

平成29年度更新予定数 200箇所  
平成30年度～平成33年度更新予定数 200箇所/年

- 指定防災井戸に関する補助金の交付 300 千円  
自主防災活動（共助）の一環として、災害時における地域の生活用水を確保するため、市内にある井戸の所有者からの申請に基づき、審査のうえ指定した防災井戸に対し、ポンプ（手動式のみ）の新規設置や交換、修繕を行う際の補助金を交付する。

(前年度の防災設備等整備事業費から分離した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
4,556	13,627	1,316	1,316	20,815	

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03			建築指導課		
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	45,004	6,036	10,657			28,311
平成28年度	245	0	0			245
対前年度	44,759	6,036	10,657			28,066
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				6,036
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				8,427
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				2,230

【事業概要】

災害に強いまちづくりを推進するため、住宅の耐震性能の把握と向上を図ることにより、災害時に備えることの重要性について普及啓発を行う。昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組工法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者（居住者）及び非木造の分譲マンションの管理組合等を対象に、既存建築物の耐震促進事業を行う。

1. 木造住宅耐震診断補助 2,100 千円  
対象住宅の所有者（居住者）を対象に、耐震診断（一般診断）に要する費用の1/2を補助する。（補助上限 60,000円） 3 5件
2. 木造住宅耐震改修工事補助 27,900 千円  
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者（居住者）を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに上記の診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。  
  - ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 3 0件
  - ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 1 5件
3. 木造住宅耐震シェルター・耐震ベッド設置補助 200 千円  
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・耐震ベッドの設置を行う所有者（居住者）を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。  
  - ・設置費用（補助上限 200,000円） 1 件
4. 分譲マンション耐震診断補助 3,150 千円  
昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。  
  - ・予備診断（補助上限 150,000円） 1 件
  - ・本診断（補助上限 1,500,000円） 2 件
5. 耐震診断義務対象沿道建築物補助 11,154 千円  
耐震改修促進計画に基づき、耐震診断が義務付けられた緊急輸送道路沿道の旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）所有者を対象に、診断に要する費用の一部を補助する。  
  - ・本診断（補助率：5/6） 5 件
6. 耐震アドバイザー講師謝礼 100 千円  
分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。  
  - ・講師謝礼（20,000円/回） 5 回
7. 建築物等防災対策事務経費 400 千円

（この事業は平成28年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
45,004	120,933	140,760	157,800	464,497	

土木費

事業名	住宅環境整備事業費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅課 (新課名：住宅政策課)		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	386,425	207,252		154,700		24,473
平成28年度	0	0		0		0
対前年度	386,425	207,252		154,700		24,473
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				67,370
	(国庫支出金)	住宅防音事業補助金				139,882
	(地方債)	市営住宅改修事業債				154,700

【事業概要】

市営住宅の良好な居住環境の整備・改善を図るため、藤沢市市営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を実施し、市営住宅ストックの長寿命化を進められるよう住宅環境の整備を行う。  
また、津波浸水想定区域内の公共施設である市営鶴沼住宅については、津波避難ビルに指定されており、津波発生時に市民の安心・安全を確保する必要があることから、屋上へ迅速かつ安全に避難するための屋外避難階段の設置事業を行う。

- |               |                             |            |
|---------------|-----------------------------|------------|
| 1. 工事請負費      |                             | 379,826 千円 |
| ・津波避難施設設置工事   | 市営鶴沼住宅4号棟                   | 64,616 千円  |
| ・外壁等改修及び防音工事  | 市営滝ノ沢住宅<br>5号棟(外壁)4・5号棟(防音) | 219,964 千円 |
| ・浴室ユニット化工事    | 市営古里住宅2号棟                   | 76,918 千円  |
| ・給水施設改修工事     | 市営鶴沼住宅5～8号棟                 | 18,328 千円  |
| 2. その他        |                             | 6,599 千円   |
| ・施設修繕費        |                             | 3,000 千円   |
| ・住宅環境整備事業事務経費 |                             | 3,599 千円   |



市営鶴沼住宅4号棟

(この事業は平成28年度6月補正で実施した事業)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
64,616	0	0	0	64,616	

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			土木維持課 (新課名：道路維持課)		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	346,364	99,840		125,700		120,824
平成28年度	236,522	99,601		65,900		71,021
対前年度	109,842	239		59,800		49,803
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				99,840
	(地方債)	橋りょう整備事業債				125,700

【事業概要】

大地震発生時の市民の避難路を確保し、被害の軽減を図るため、沿岸部に位置する日の出橋の耐震化工事を実施する。また市内橋りょうの経年劣化に対応するため、第二期長寿命化修繕計画策定と、跨線橋の定期点検、第一期修繕計画に基づく維持補修工事等を実施する。

- |   |            |
|---|------------|
| <p>1. 報償費<br/>長寿命化修繕計画策定学識経験者謝礼</p>   | 300 千円     |
| <p>2. 委託料<br/>橋りょう長寿命化修繕計画策定委託<br/>橋りょう長寿命化修繕計画に伴う点検委託<br/>山崎跨線橋耐震化設計及び照査委託<br/>長寿命化修繕計画に伴う橋りょう設計委託</p> | 53,645 千円  |
| <p>3. 工事請負費<br/>橋りょう耐震化工事<br/>(日の出橋)<br/>橋りょう長寿命化修繕計画に基づく維持補修工事<br/>(大庭大橋、山本橋、長久保緑橋、大道橋)</p>            | 185,696 千円 |
| <p>4. 負担金補助及び交付金<br/>JR跨線橋点検負担金 (JR東海、JR東日本)<br/>京楽園跨線橋塗装塗替工事負担金 (JR東日本)</p>                            | 106,723 千円 |

日の出橋 現況写真



大道橋 現況写真



【事業費（事務事業中の重点事業分）】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
346,364	266,000	435,000	457,000	1,504,364	

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			土木維持課 (新課名：道路維持課)		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	200,858		135,465	38,100		27,293
平成28年度	92,822		32,985	43,300		16,537
対前年度	108,036		102,480	△ 5,200		10,756
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				135,465
	(地方債)	橋りょう整備事業債				38,100

【事業概要】

市内の洪水対策を図るため、神奈川県が実施する河川改修にあわせて、蓼川の蓼中橋、蓼中人道橋及び引地川の大山橋の橋りょう架替事業を行う。

1. 蓼中橋架替事業

155,549 千円

蓼中橋と蓼中人道橋は統合し、蓼中橋に歩道を設けることで、沿線住民を中心とした道路利用者の利便性と安全性の向上を図る。

平成29年度は旧橋の撤去と右岸側の橋台及び護岸の工事を実施する。

蓼中橋（上流側より）



蓼中人道橋（下流側より）



2. 大山橋架替事業

45,309 千円

大和市境付近の浸水対策を図るため、神奈川県が河川改修と大山橋の架替を実施することから、道路管理者である本市は、協定に基づき応分の費用を負担する。架替にあたり現在2.5mの幅員を6.0mへ拡幅し、車輻交通の円滑化と歩行者の安全性向上を図る。

平成29年度は左岸側の橋台及び上部工の工事を実施する。

大山橋（上流側より）



大山橋（右岸側より）



<継続費> 蓼中橋架替工事（右岸下部・護岸工）

（単位：千円）

年割額	平成29年度	平成30年度	合計
	118,287	118,127	236,414

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
200,858	228,918	188,984	73,441	692,201	

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			下水道整備課 (新課名：河川水路課)		
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	100,924	6,100		31,100		63,724
平成28年度	32,416	0		0		32,416
対前年度	68,508	6,100		31,100		31,308
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				6,100
	(地方債)	河川改修事業債				31,100

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減し、流域住民の安全・安心を確保するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、河川改修事業を行う。平成28年度に実施した予備設計を基に、引地川合流点より延長約240m区間の橋りょう・護岸の詳細設計及びバイパス水路の施設の配置・接続方法の方針を固めるため予備設計を実施する。

1. 役務費 2,200 千円
  - ・不動産鑑定手数料
  
2. 委託料 98,500 千円
  - ・準用河川一色川橋りょう・護岸詳細設計委託 31,600 千円
  - ・準用河川一色川用地測量委託 7,200 千円
  - ・準用河川一色川建物等調査委託 9,600 千円
  - ・準用河川一色川分水施設・バイパス水路等予備設計委託 45,000 千円
  - ・準用河川一色川護岸健全度調査委託 5,100 千円
  
3. 一色川改修事業事務経費 224 千円

【案内図】



【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
100,924	79,025	190,175	85,225	455,349	

事業名	(新)大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 06			警防課		
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	危機管理対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	14,637	2,400	3,217	8,000		1,020
平成28年度	0	0	0	0		0
対前年度	14,637	2,400	3,217	8,000		1,020
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,400
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				3,217
	(地方債)	消防施設整備事業債				8,000

**【施策等を必要とする背景】**

近年中に発生が懸念されている首都直下地震等の地震災害や台風及び集中豪雨等による自然災害、また大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、災害対応に必要な資機材等の整備を行う必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

藤沢市市政運営の総合指針2016にあわせて策定した「藤沢市消防局総合基本指針」の基本目標の一つとして「大規模災害に対応・援助できる先進消防」を掲げ、現状の課題を整理するとともに、これまで個別に実施してきた関連事業を抽出し、施策展開の方針を定めた。

平成26年4月 藤沢市市政運営の総合指針2016の策定

平成26年7月～平成27年3月 藤沢市消防局総合基本指針策定検討委員会において検討

平成27年3月 藤沢市消防局総合基本指針を策定

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

- ・藤沢市地域防災計画  
「第3部第3章：救助・救急、消火活動体制の充実」に位置付け
- ・藤沢市消防局総合基本指針  
「基本目標1：大規模災害に対応・援助できる先進消防」に位置付け

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

地震災害、自然災害及び特殊災害等が発生した際の対応強化を図り、効率的な消防活動体制を確立するとともに各種災害における被害を軽減し、市民の安全・安心の向上に資することが期待される。

2. 将来にわたる費用

災害時における消防の対応力強化を目的とし、災害対応資機材等の整備を行うものであり、中長期的な取組として、計画的な整備が必要となる。

また、社会構造の変化や災害の複雑化・多様化から、消防に対する市民ニーズの増加が見込まれており、次年度以降も引き続き災害対応資機材等の整備に要する費用負担が必要となる。

**【事業概要】**

近年中に起こる可能性が高い大規模震災等に対応するため、耐震性防火水槽の新設及び消防救助資機材の整備を行う。

- 耐震性防火水槽の新設（宮ノ下公園） 12,053 千円  
発生が懸念されている大規模震災等による火災被害を軽減するため、柄沢特定土地区画整理事業において整備される宮ノ下公園内に耐震性防火水槽（40m<sup>3</sup>）を設置し、市民の日々の安心につなげる。
- 消防救助資機材の整備（FRPボートの配備） 2,584 千円  
水害発生時の救助活動及び津波浸水想定区域での活用等、市民を救助するためのボートの必要性を踏まえ、これまで使用してきたアルミボート等に代えて、軽量で搬送が容易なFRPボート（4艇）を配備する。

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

平成29年度					新規等の区分	
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規	
14,637	26,122	25,976	24,200	90,935		

環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 04			防犯交通安全課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	17,366		1,080			16,286
平成28年度	26,588		0			26,588
対前年度	△ 9,222		1,080			△ 10,302
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,080

【事業概要】

市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

1. 街頭犯罪抑止環境整備 3,093 千円  
 こども110番の設置や、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
2. インターネット等を使用した防犯情報広報啓発事業 1,346 千円  
 (1) 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務 899 千円  
 不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール配信等するための防犯対策システムのソフトウェアの保守管理を行う。  
 (2) 防犯情報広報啓発事業 447 千円  
 ホームページ・SNSを使用し防犯情報を周知啓発する。
3. 暴力追放推進協議会等の活動支援 860 千円  
 暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
4. 各地区防犯パトロール隊の活動支援 3,000 千円  
 市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
5. 自治会・町内会への防犯カメラ設置費補助 9,067 千円  
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ34台について設置費の一部を補助する。

(千円)

地区	自治会名	設置台数	補助金額	区分
片瀬	新屋敷第一自治会	4台	1,297	新規
	下高倉第二自治会	11台	2,543	新規
長後	長後通り北部第二自治会	2台	383	新規
	辻堂西町町内会	1台	150	新規
辻堂	辻堂西海岸町内会	2台	693	新規
	ニコニコ自治会	2台	745	更新
鶴沼	花沢町内会	2台	494	新規
	鶴南みどり会	2台	750	新規
藤沢東部	御幣山自治会	4台	729	新規
藤沢西部	泉町町内会	2台	534	新規
	藤沢スカイハイツ自治会	2台	749	新規

※安全・安心ステーション事業は、地域の縁側等地域づくり活動支援事業費へ統合

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
17,366	34,026	36,966	32,066	120,424	

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	1-3-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	37,402					37,402
平成28年度	26,233					26,233
対前年度	11,169					11,169

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 11,865 千円  
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車の減少を図るため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の45%を助成する。
  - ・ 提携駐車場に対する助成 11,370 千円  
 16カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 他13商店街
  - ・ 借上駐車場に対する助成 495 千円  
 1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合
  
2. 商店街街路灯電灯料補助金 11,975 千円  
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料の100%を助成する。
  - ・ 街路灯 2,750灯 本町白旗商店街振興組合 他33商店街  
公益社団法人藤沢市商店会連合会維持管理1ヶ所
  
3. 商店街共同施設設置事業補助金 13,562 千円  
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設を設置または改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用または改修、修繕費用の一部を助成する。
  - ・ 街路灯設置・改修（LED化工事）  
 本町白旗商店街振興組合 他4商店街 9,919 千円
  - ・ 防犯カメラ設置 協同組合柳通り睦会 他2商店街 3,375 千円
  - ・ 横断幕修繕 協同組合藤沢銀座土曜会 268 千円



(街路灯LED化工事例)

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
13,294	23,241	10,320	9,480	56,335	

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			土木計画課 (新課名：道路河川総務課)		
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	27,318					27,318
平成28年度	45,613					45,613
対前年度	△ 18,295					△ 18,295

【事業概要】

放置自転車対策の一環として、歩行者の安全な通行の確保や自転車等利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備に向けた用地測量等を行う。

- 委託料 27,238 千円
  - (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場整備に向けた測量委託
  - (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場整備に向けた家屋調査業務委託
  - (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場詳細設計委託
  - (仮称) 善行駅東口自転車等駐車場整備に向けた測量委託
- 自転車駐車場整備事業事務経費 80 千円

(仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場



(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
27,318	390,000	105,000	42,500	564,818	

教育費

事業名		オリンピック開催準備関係費				
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	35,438		8,675			26,763
平成28年度	14,148		0			14,148
対前年度	21,290		8,675			12,615
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				8,675
<p>&lt;拡充事業&gt; 気運を高める取組及びボランティアに関する取組の実施</p> <p><b>【施策等を必要とする背景】</b>            平成27年6月8日に、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が本市江の島で開催されることが決定された。            この2回目となるオリンピック競技大会の開催の機会を、将来の少子化・超高齢化の進行や人口減少等に伴う諸課題の解決に向けての試金石と捉え、大会に向けた気運を醸成しつつ大会組織委員会、神奈川県等の関係機関及び市民協働組織である「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」（以下「支援委員会」という。）と連携して大会を支援するとともに、地域活性化、健康増進、国際交流等に資することが求められている。</p> <p><b>【提案に至るまでの経緯】</b>            2020年大会の東京開催決定後、支援委員会及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市庁内推進会議（以下「庁内推進会議」という。）を設置し、大会の応援や事前キャンプ誘致等を検討してきた。その後、江の島での競技開催が決定されたことにより、新たに開催準備室を設置し、リオ2016大会の視察や庁内外での検討結果を踏まえ、気運を高める取組やボランティアに関する取組を実施している。            平成25年9月 IOC（国際オリンピック委員会）理事会で2020年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市として東京が選出            平成26年1月 庁内推進会議設置            平成26年4月 支援委員会発足            平成27年6月 IOC理事会で江の島におけるセーリング競技開催決定            平成28年4月 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室を設置</p> <p><b>【市民参加の実施の有無とその内容】</b> 有            平成28年度は、支援委員会において会議を開催し、市との共催事業の実施をはじめ、オリンピック開催準備に向けた情報の共有化や市主催事業の案内を行うとともに、平成29年度以降に向けた取組等について検討した。</p> <p><b>【市の策定する計画や条例との整合性】</b>            藤沢市市政運営の総合指針2020において、市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援を重点施策として位置づけている。</p> <p><b>【将来にわたる効果及び費用】</b>            1. 将来にわたる効果            将来に向けた成果を意識して取り組むことにより、レガシーとしてのセーリングをはじめとするマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興、競技スポーツ力の向上、生涯スポーツ・パラスポーツの推進、健康増進、国際交流、観光振興、環境美化、ボランティア活動の推進、文化芸術・教育分野の推進等が図られる。            2. 将来にわたる費用            事前キャンプにおける国際交流や文化芸術・教育分野等でのオリンピックに関連した取組等については、オリンピック開催までの継続的かつ拡充した展開が必要となるとともに、ボランティアの登録人数も大会が近づくにつれて増加するため、これらに要する事業費が見込まれる。</p>						
<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>						新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充	
35,438	48,000	88,000	93,000	264,438		

**【事業概要】**

東京2020大会の成功に向け、関係団体、市民等と連携し、計画的に開催準備を進める。

(拡) 1. 気運を高める取組

13,552 千円

- (1) 東京2020大会への全市民的な気運醸成を図るため、神奈川県等と連携を図りながら事業を実施する。 10,525 千円

[実施予定事業]

カウントダウンイベント、(仮称)市民応援団設立に向けた取組、事前キャンプ誘致活動、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室、パラスポーツ講演会、気運醸成グッズの作成等

- (2) セーリング競技の普及啓発を図るため、神奈川県との一部共同実施を含め、セーリング体験事業等を実施する。 3,027 千円

[実施予定事業]

出張型陸上体験会、プールでヨット体験、ヨット展示、国際レース海上観戦、セーリングワールドカップ開催準備等



市民まつりヨット展示

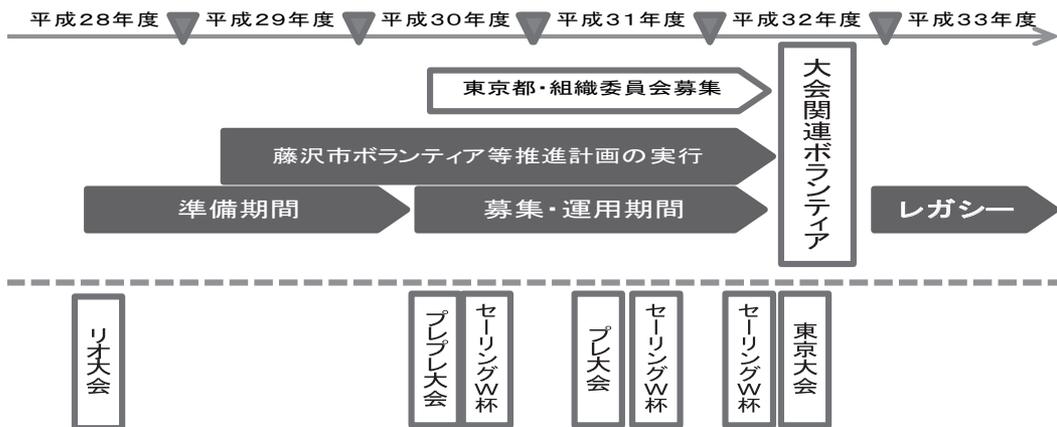


海上観戦

(拡) 2. ボランティアに関する取組

13,000 千円

大会組織委員会や東京都が計画するボランティア戦略との連携・整合を図りながら、東京2020大会以降も見据えた本市独自のボランティア活動の取組を進めるため、ボランティアの研修やシンポジウムの開催及び平成30年度のボランティア募集開始に向け、本市独自のwebサイトの構築や事業運営の検討等を行う。



3. その他事務経費

8,886 千円

- ・非常勤職員報酬、パート賃金 6,560 千円
- ・経常旅費 789 千円
- ・事務用品、参考図書等 422 千円
- ・使用料及び賃借料 1,115 千円

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	38,718					38,718
平成28年度	34,734					34,734
対前年度	3,984					3,984

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け機運を高めるとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図ることを目的として、(公財) 藤沢市みらい創造財団へ、各種スポーツ関係業務を委託する。

(拡) 1. スポーツ事業業務委託 38,718 千円

(1) 東京2020オリンピック競技大会関連業務

- ・東京2020オリンピック競技大会関連業務
- ・ビーチ、マリンスポーツ推進関連業務

(2) 東京2020パラリンピック競技大会関連業務

- ・パラスポーツ交流会の開催
- ・ふれあいスポーツ交流会の開催
- ・障がい者スポーツ団体の組織化
- ・障がい者スポーツの指導者、支援協力者を養成

(3) 藤沢市健康増進関連業務

- ・ラジオ体操開催業務
- ・健康、体力づくりのイベント等開催業務

(4) 藤沢市スポーツ推進計画関連業務

- ・ビーチレクリエーションゾーン管理運営業務
- ・こどもの体力テスト事業業務
- ・神奈川県中学生ビーチバレー大会、全国中学生ビーチバレー大会開催業務
- ・湘南藤沢市民マラソン大会開催業務
- ・藤沢市駅伝大会開催業務
- ・スポーツ施設マップ作成業務
- ・スポーツ推進、施設利用促進のための広報業務及び利用者支援業務



<参考写真>  
(平成28年度ラジオ体操)



<参考写真>  
(平成28年度藤沢市駅伝大会)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
1,201	1,204	1,210	1,240	4,855	

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 07			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	11,000				3,000	8,000
平成28年度	12,000				3,000	9,000
対前年度	△ 1,000				0	△ 1,000
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸において「第31回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、藤沢の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運を高めるために、中学生を対象としたビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を開催する。

- 第31回ビーチバレージャパン（開催負担金） 6,000 千円  
開催月：8月（3日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第11回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 1,000 千円  
開催月：7月（1日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第8回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 4,000 千円  
開催月：8月（2日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



<参考写真>  
(平成28年度ビーチバレージャパン)



<参考写真>  
(平成28年度湘南藤沢カップ  
全国中学生ビーチバレー大会)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
11,000	11,000	11,000	11,000	44,000	

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01				平和国際課 (新課名：人権男女共同平和課)	
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ「2020年」に向けてまちの魅力を創出する				
		重点施策名 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	32,024				32,024	
平成28年度	30,323				30,323	
対前年度	1,701				1,701	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				32,024

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、国際相互理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 17,586 千円  
 姉妹友好都市等との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。

- (1) マイアミビーチ市との交流
- (2) 昆明市との交流
- (3) ウィンザー市との交流（姉妹都市提携30周年記念事業）
  - ・公式訪問団派遣 6月（予定）
  - ・公式訪問団受入 11月（予定）
- (4) 保寧市との交流（姉妹都市提携15周年記念事業）
  - ・公式訪問団派遣 7月（予定）
  - ・公式訪問団受入 9月（予定）
- (5) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機として、姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。



姉妹友好都市訪問団紹介



姉妹友好都市による市長表敬訪問

2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 881 千円  
 外国人市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会へ委託して実施する。  
 ・開催時期：10月（予定）
3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円
4. 都市親善事業事務経費 13,307 千円  
 ・都市親善推進員報酬 10,658 千円  
 ・パート賃金、通訳・翻訳料等 2,649 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
4,156	4,200	4,200	5,000	17,556	

商工費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 8 項 2 目 5 細目 01 説明 01			企画政策課 (新課名：観光シティプロモーション課)		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	14,926		1,764			13,162
平成28年度	14,674		0			14,674
対前年度	252		1,764			△ 1,512
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,764

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、都市のブランド価値を高めるとともに、本市全域が活力あるまちとして、持続的に発展していくことを目的として、シティプロモーション事業を推進する。

ふじさわシティプロモーション コンセプト 「好きこそ街の魅力なれ！藤沢！」  
キャッチフレーズ 「キュンとするまち。藤沢」

1. シティプロモーション推進事業 9,193 千円  
藤沢の「知名度」や「存在感」の向上を目指し、地域経済の活性化等により本市が持続的に発展していくことを目的として、シティプロモーション事業を推進するための業務を行う。  
・シティプロモーション推進業務委託 9,193 千円
2. 公式マスコットキャラクター運営事業 3,782 千円  
公式マスコットキャラクターを各種イベント等で活用することにより、シティプロモーションの一層の展開を図る。  
・キャラクタープロモーション運營業務委託 3,080 千円  
・商標登録業務委託 337 千円  
・PR旅費 365 千円
3. シティプロモーション推進のための調査研究 510 千円  
藤沢への愛着や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため、市民の意識調査等を行う。  
・アンケート等郵送料 510 千円
4. シティプロモーション関係事務経費 1,441 千円  
・講師謝礼 180 千円  
・消耗品 1,205 千円  
・回線使用料 56 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
14,926	14,926	14,926	14,926	59,704	

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光課 (新課名：観光シティプロモーション課)		
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	44,157		356		3,467	40,334
平成28年度	41,179		500		3,579	37,100
対前年度	2,978		△ 144		△ 112	3,234
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				356
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				3,467

【事業概要】

国内外から多くの観光客を誘客するため、観光キャラバンによる県外キャンペーンの実施、台湾やタイの旅行博覧会への出展・参加、民間団体が実施するイベントへの参画などを行う。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 観光宣伝事業委託                                | 37,097 千円 |
| ＜主な事業＞                                     |           |
| ・観光キャラバン事業                                 | 4,260 千円  |
| ・観光ホームページによる宣伝事業                           | 786 千円    |
| ・北部地域観光ウォークラリー                             | 70 千円     |
| ・北部観光振興事業                                  | 275 千円    |
| ・旅行情報誌ブランド力を活用した観光PR事業                     | 9,308 千円  |
| ・外国語版江の島イラストマップの作成                         | 1,083 千円  |
| ・外国人観光客誘致対策事業                              | 12,573 千円 |
| ・宝探し事業(エノシマトレジャー)                          | 3,571 千円  |
| ・江の島・相模湾観光振興事業                             | 341 千円    |
| ・観光親善大使関連事業                                | 590 千円    |
| 2. 海と山との市民交歓会開催委託                          | 891 千円    |
| 姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施                        |           |
| 3. 地域観光振興事業補助金                             | 600 千円    |
| 8月に開催される遊行寺薪能事業への助成                        |           |
| 4. 新春藤沢江の島歴史散歩事業補助金                        | 530 千円    |
| 1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成 |           |
| 5. 全日本ライフセービング選手権大会補助金                     | 300 千円    |
| 10月に片瀬西浜海岸で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成       |           |
| 6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業補助金                     | 3,000 千円  |
| 市内北部地域で開催されるサイクルロードレース大会への助成               |           |
| 7. その他事務経費                                 | 1,739 千円  |
| 臨時職員賃金、講師謝礼、特別旅費                           |           |

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
44,157	44,157	44,157	44,157	176,628	

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04			観光課 (新課名：観光シティプロモーション課)		
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	23,729					23,729
平成28年度	21,673					21,673
対前年度	2,056					2,056

【事業概要】

藤沢市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 23,729 千円
- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
  - ・撮影許可申請の案内
  - ・ロケの立ち会い
  - ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
  - ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
  - ・市民向けフォーラムの開催
  - ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力



(フジテレビ ドラマ「好きな人がいること」撮影風景)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
23,729	28,859	23,729	28,859	105,176	

教育費

事業名	郷土文化推進費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 01			郷土歴史課		
指針体系コード	2-2-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	91,167				1,160	90,007
平成28年度	93,915				1,147	92,768
対前年度	△ 2,748				13	△ 2,761
特定財源の内訳	(その他)	ふじさわ宿交流館使用料				60
	(その他)	浮世絵館関連グッズ売上収入				1,100

【事業概要】

旧東海道藤沢宿周辺地区の歴史的街づくりの核となる施設であるふじさわ宿交流館及び湘南C-X内のココテラス湘南7階に開館した藤澤浮世絵館の管理運営を行う。

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 1. ふじさわ宿交流館の管理運営        | 30,380 千円 |
| ・委託料（指定管理料）             | 29,506 千円 |
| 指定管理者：（公社）藤沢市観光協会       |           |
| ・展示用消耗品、講師謝礼            | 252 千円    |
| ・その他経費                  |           |
| パソコン等賃借料、警備委託料等         | 622 千円    |
| 2. 藤澤浮世絵館の管理運営          | 60,787 千円 |
| ・非常勤職員報酬、パート職員賃金等       | 12,578 千円 |
| ・開館1周年記念事業等講師謝礼         | 330 千円    |
| ・資料等消耗品、備品費             | 4,109 千円  |
| ・印刷製本費（展示ガイド・ポスター・チラシ等） | 4,658 千円  |
| ・マット加工、浮世絵修復等手数料、翻訳料    | 3,182 千円  |
| ・ココテラス湘南賃借料等            | 33,424 千円 |
| ・清掃等委託料、パソコン等賃借料        | 1,693 千円  |
| ・その他経費（旅費、電話代、動産保険料等）   | 813 千円    |



<参考写真>  
(藤澤浮世絵館 開館式典)



<参考写真>  
(ふじさわ宿交流館 宿場寄席)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
60,787	60,787	60,787	60,787	243,148	

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-51	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	148,704				2,000	146,704
平成28年度	116,274				0	116,274
対前年度	32,430				2,000	30,430
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				2,000

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し助成等を行う。

- (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 148,704 千円  
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。

  - 音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供、体験発表事業の実施
  - 市民オペラ公演の実施  
 演目：園田隆一郎芸術監督2015-2017シーズン  
 第23回藤沢市民オペラ「トスカ」  
 日程：11月19、23、25、26日  
 会場：市民会館大ホール
  - 藤沢ゆかりの音楽家たちによる演奏会等の実施
  - 藤沢市展  
 日程：5月23日～6月11日  
 会場：市民ギャラリー
  - ロビーコンサート、学校訪問事業、その他文化芸術事業



園田隆一郎芸術監督2015-2017シーズン「セミラミデ」 © (公財) 藤沢市みらい創造財団

<参考写真>

(平成28年度藤沢市民オペラ (演奏会形式) 園田隆一郎芸術監督  
 2015-2017シーズン第2弾「セミラミデ」)

【事業費 (事務事業中の重点事業分)】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
78,496	57,333	50,291	88,496	274,616	

教育費

事業名	文化行事費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-61	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	5,797				1,242	4,555
平成28年度	5,215				0	5,215
対前年度	582				1,242	△ 660
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				1,242

【事業概要】

魅力あふれる文化芸術創造のため、文化芸術の鑑賞機会の更なる充実を図るとともに、将来の本市の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。

- 郷土芸術文化推進事業補助金の交付 1,900 千円  
郷土愛あふれるまちづくりを進めるため、藤沢市文化団体連合会に加盟する各文化団体が実施する次世代育成事業や郷土文化拡充事業に対し支援を行う。  
補助金交付先：藤沢市文化団体連合会
- 「こころの劇場」招待事業（輸送等経費） 2,655 千円  
市立小学校35校の6年生等を対象に、優れた演劇に触れるきっかけを与え、豊かな感性と創造性を育むことを目的とした、ミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。  
日程：6月21、22日（予定）  
会場：市民会館大ホール  
招待人数：約4,000人（予定）
- セイジ・オザワ松本フェスティバル事業負担金 1,242 千円  
松本市で行われる「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のオーケストラコンサートを生中継で観る、スクリーンコンサートを市民会館にて行う。

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
5,797	9,950	7,950	7,950	31,647	

教育費

事業名	アールスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-71	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	66,752				580	66,172
平成28年度	68,098				556	67,542
対前年度	△ 1,346				24	△ 1,370
特定財源の内訳	(その他)	アールスペース使用料				580

【事業概要】

アールスペースの運営管理を行い、藤沢にゆかりのある若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

1. 報酬、賃金 13,345 千円  
非常勤職員報酬、パート職員賃金
2. 施設管理、運営経費 34,888 千円  
賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等
3. 辻堂駅自由通路デジタルサイネージの運営管理費 1,080 千円
4. 事業運営費 17,439 千円
  - ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援  
藤沢市や湘南地域で活動する若手芸術家及び全国からの公募により選出した芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
  - ・身近な美術鑑賞の機会の提供  
藤沢ゆかりの作家や湘南地域で活動する若手芸術家を中心に、絵画、彫刻、写真等の幅広い分野の企画展を開催する。
  - ・美術作品の展示・発表の場の提供  
個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの創作発表の場を提供する。
  - ・美術学習の場の提供  
子どもを対象とするワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。



<参考写真> (公募展開催風景)



<参考写真> (辻堂駅自由通路に設置したデジタルサイネージ)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
66,752	65,559	65,559	65,559	263,429	

土木費

事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01	江の島地区周辺整備担当				
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	804					804
平成28年度	810					810
対前年度	△ 6					△ 6

【事業概要】

片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び片瀬江ノ島駅駅前広場の交通結節点としての機能向上を図るため、片瀬江ノ島駅駅前広場の再整備に向けた事務事業を行う。

平成29年度は、平成28年度に行った片瀬江ノ島駅駅前広場周辺等整備検討委託の成果をもとに、片瀬江ノ島駅周辺の再整備方針を立てる。

江の島地区周辺整備事業事務経費

804 千円



小田急線片瀬江ノ島駅周辺航空写真

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
804	110,015	1,694,406	646,514	2,451,739	

教育費

事業名	児童支援体制充実事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 13	学務保健課				
指針体系コード	3-1-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	17,957					17,957
平成28年度	0					0
対前年度	17,957					17,957

【事業概要】

全教職員があらゆる教育活動を通して組織的、効果的に児童支援に取り組み、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を推進するため、市立小学校に児童支援の中心的役割を担う「児童支援担当教諭」を配置し、その活動時間確保のため、担当教諭が受け持つ授業の一部を担う市費講師を配置する。

- (拡) 1. 市費講師 17,957 千円  
 任用人数 16人  
 (経費内訳)  
 ・賃金 17,035 千円  
 (市費講師の1人あたりの授業時間数 12時間/週)  
 ・交通費 922 千円

(この事業は平成28年度6月補正で実施した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
17,957	31,425	31,425	31,425	112,232	

教育費

事業名	校務支援システム構築事業費（小学校）					
予算科目	款 1 1 項 2 目 1 細目 03 説明 02			学校教育企画課 （新課名：教育総務課）		
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	85,856					85,856
平成28年度	54,917					54,917
対前年度	30,939					30,939

【事業概要】

市立小学校において、名簿管理をはじめとする校務を適切かつ効率的に行うため、情報セキュリティを確保しつつ、教職員が使用するパソコンを整備する。

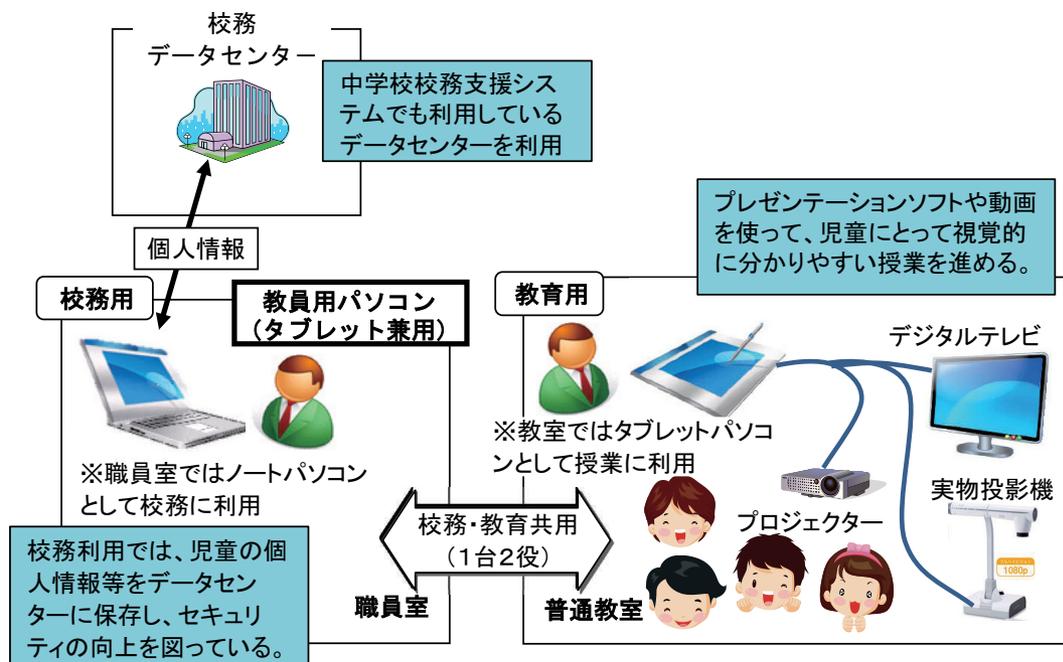
また、教員用パソコンについてはタブレット兼用のものを整備し、教室等での学習指導にも活用できるようにする。

さらに、新たに学校事務職員に対し、パソコン等を整備する。

- ・平成27年10月 平成21年度設置の105台に、105台を追加。LAN回線によるネットワーク化
- ・平成28年12月 143台追加
- ・平成29年10月 平成21年度設置の105台を更新。71台を追加（教員用パソコンの整備率40%）。また、事務職員用に35台を追加

1. 校務用パソコン等賃貸借 85,856 千円

- (1) 校務用パソコンで処理する校務の内容  
名簿管理、指導記録、成績処理、保健管理等
- (2) 校務用パソコンを利用した、学習指導における活用例  
・プレゼンテーションソフトを使用して、かけ算の考え方を分かりやすく解説  
・動画で実験の操作方法を分かりやすく説明
- (3) 事務の効率化のため、学校事務職員へパソコン等を整備



（この事業は平成28年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
85,856	117,931	140,994	140,994	485,775	

民生費

事業名	法人立保育所施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	87,277	58,185		23,200		5,892
平成28年度	0	0		0		0
対前年度	87,277	58,185		23,200		5,892
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育所等整備交付金				58,185
	(地方債)	法人立保育所施設整備事業債				23,200

【事業概要】

法人立認可保育所における施設の長寿命化及び保育環境の向上を図るため、建築後一定年数が経過した施設の大規模修繕を実施するための経費を助成する。

1. ときわぎ保育園本園大規模修繕補助金 87,277 千円  
 遊戯室における雨漏りや空調機設備などが老朽化しているため、大規模修繕を実施する経費を助成する。

- ・設置運営法人 社会福祉法人俊幸福社会
- ・所在地 円行2-3-1
- ・構造等 鉄筋コンクリート造3階建
- ・定員 75名（0歳児15名、1歳児30名、2歳児30名）  
 ※大規模修繕後、0歳児の定員を若干名増する予定
- ・整備期間 平成29年8月～平成30年2月  
 ※安全性の確保を前提とし、保育を実施しながら工事を行う予定

(この事業は平成28年度6月補正で実施した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
87,277	0	0	0	87,277	

民生費

事業名	市立保育所整備費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 03	子育て企画課・保育課				
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	25,338			0		25,338
平成28年度	43,787			26,700		17,087
対前年度	△ 18,449			△ 26,700		8,251

< 拡充事業 > 辻堂保育園再整備事業の実施

【施策等を必要とする背景】

市立保育所については、いずれも建築から30年以上経過し、建物の耐震性や地震対策などから、老朽化した施設の再整備が必要であり、藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）に位置づけた基幹保育所及び地域保育所については、公共施設再整備プランによる計画的な建て替え等の再整備を図ることとしている。

辻堂保育園については、昭和44年に建設された施設で、築45年以上が経過しており、老朽化が進んでいるため、安全性の確保の観点から、建て替えを行う。

また、辻堂保育園については、西南地区における「基幹保育所」として、区域内の保育水準の向上及び地域における子育て支援の充実を図るための保育園として位置づけられている。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年 3月 子ども文教常任委員会において、建て替え用地を近隣に確保できる目途が立ち、再整備を進めることを報告

平成28年10月 藤沢市土地開発公社が建て替え用地を先行取得

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

今後、計画の検討が進んだ段階で近隣住民等に向けた説明会等の開催を予定している。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・第2次藤沢市公共施設再整備プランにおいて、第2期短期プランの実施事業に位置づけられている。

- ・藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）において、基幹保育所については建て替え等の再整備を図ることとしている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により西南地区に基幹保育所が整備され、区域内における保育水準の向上や子育て支援の充実が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の事業費見込額は次のとおり

平成29年度	19,076 千円
平成30年度	440,683 千円
平成31年度	538,000 千円
平成32年度	598,000 千円
総事業費見込	1,595,759 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
19,076	440,683	538,000	598,000	1,595,759	

**【事業概要】**

老朽化した市立保育所の建て替えを行うため、辻堂保育園の建て替え予定地の測量、地質調査、新園舎の設計を行うとともに、藤が岡保育園の建て替え期間中に仮設園舎として使用する建物の改修等を行う。

また、辻堂保育園における老朽化した空調設備の改修等を行う。

(括) 1. 辻堂保育園再整備事業 19,076 千円

辻堂保育園の建て替え予定地の測量、地質調査及び新園舎の設計を行う。

なお、設計委託については、2カ年の継続事業として実施する。

＜辻堂保育園再整備事業の内訳＞

	平成29年度	平成30年度	合計
測量委託	3,284千円		3,284千円
地質調査委託	6,848千円		6,848千円
設計委託	8,944千円	50,683千円	59,627千円
合計	19,076千円	50,683千円	69,759千円

(継続事業)

・事業スケジュール (予定)

平成29年度 測量委託、地質調査、基本・実施設計  
 平成30年度 基本・実施設計  
 平成31年度～ 建設工事  
 平成32年度  
 平成32年度中 供用開始

2. 藤が岡保育園仮設園舎の改修等 3,904 千円

藤が岡二丁目地区再整備の一環として、藤が岡保育園の建て替えにあたり、建て替え期間中（平成30年度から平成33年度中）に使用する仮設園舎（法人立保育所村岡保育園旧園舎）の空調及び調理室設備の一部改修等を行う。

〈参考〉

・事業スケジュール (予定)

平成29年度 PFI法に基づく事業者公募  
 平成30年度 移転及び解体工事、埋蔵文化財調査、基本設計  
 平成31年度 実施設計  
 平成32年度 建設工事  
 平成33年度中 供用開始

3. 辻堂保育園の空調設備改修等にかかる経費 2,358 千円

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,824,398	62,027	87,977		88,838	1,585,556
平成28年度	1,821,795	51,874	180,046		88,838	1,501,037
対前年度	2,603	10,153	△ 92,069		0	84,519
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				44,375
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				17,652
	(県支出金)	民間保育所運営費補助金				14,469
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				44,375
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				2,430
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				26,703
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				88,642
(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196	

【事業概要】

法人立認可保育所の保育内容の向上及び施設運営の安定を図るため、設置者の社会福祉法人等に対し、保育所の運営費等を助成する。

1. 傷害・損害保険料  
在園児童の傷害保険加入費用等 2,338 千円
2. 保育所運営等業務委託 1,522,383 千円  
市内法人立認可保育所に対する人件費、施設管理費及び多様化する保育ニーズへの対応を図るための一時預かり・病後児保育等の実施に要する費用、並びに地域型保育施設からの卒園児受け入れに対応するための「3歳の壁対策事業」等に要する費用
3. 湘南C-X内保育所建物賃借料 75,980 千円
4. UR都市機構内保育所土地賃借料 9,720 千円
5. 湘南C-X内保育所建物共益費 15,830 千円
- (新) 6. 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 19,188 千円  
保育士の人材確保及び離職防止を図るため、保育士の宿舍を借り上げる法人に対して、その費用を助成
7. 社会福祉法人保育所用地賃借料補助金 12,944 千円  
民有地等を賃借して保育所を設置運営する法人に対して、年間賃借料の1/2を助成
8. 分園設置建物賃借料補助金 11,679 千円  
建物を賃借して分園を設置運営する法人に対して、年間賃借料の3/4を助成
9. 保育所建物設置賃借料補助金 133,027 千円  
保育需要の多い地区において建物を賃借して保育所を設置運営する法人に対して、年間賃借料の3/4を助成
10. 保育所保育士等確保事業補助金 9,900 千円  
法人立保育所が確実に職員を雇用できるよう、人材確保に係る経費の一部を助成
11. 市外民間保育所扶助費 11,409 千円  
市外の法人立認可保育所等に在園する本市在住児童の保育に要する費用

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
1,824,398	1,996,256	2,025,499	2,069,363	7,915,516	

事業名	(新) 放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	77,525	18,105	18,105			41,315
平成28年度	0	0	0			0
対前年度	77,525	18,105	18,105			41,315
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				12,466
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				5,639
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				12,466
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				5,639

**【施策等を必要とする背景】**

放課後児童クラブについては、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う対象児童の範囲の拡大や条例で定めた面積基準等への対応、共働き世帯の増加による需要の高まり等に対応するため、藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、施設整備を進めている。

なお、同計画においては、現在の運営事業者による施設整備が見込めないと市が判断したときは、現在の運営事業者と十分協議した上で、新たな事業者を募集することとしている。

また、ぼてんこ児童クラブ（鶴沼小学校区）については、都市計画道路区域内にあり、区域外への移設を行う必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

1. 公募により選定した事業者による整備

平成28年 9月 子ども文教常任委員会において公募の実施について報告  
 11月 藤沢市放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会を実施  
 (2小学校区において候補者の内定)

2. ぼてんこ児童クラブ移設

平成24年11月 土地所有者が建設したぼてんこ児童クラブを賃借して、運営を開始する。  
 平成27年 8月 土地所有者に対して、移設計画の提案を行い、移設についての了承を得る。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

- ・藤沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・藤沢市放課後児童クラブ整備計画

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

放課後児童クラブの整備を行うことにより、一部小学校区での待機児童の解消及び条例で定めた面積基準等への適合が図られる。

2. 将来にわたる費用

新たに整備を行うことにより、運営事業者に対し運営費用を支払う必要がある。

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分 新規
77,525	140,301	160,344	40,086	418,256	

**【事業概要】**

藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、公募により選定された設置運営事業者に対し、児童クラブの開所に向けた整備に係る費用の一部を負担するとともに、（公財）藤沢市みらい創造財団との連携により、放課後児童クラブを整備する。

また、現在、都市計画道路区域に設置されているぽてんこ児童クラブの移設を行う。

1. 放課後児童クラブの新設 56,406千円

小学校区	定員(予定)	所在地(予定)	事業者	整備手法
高砂	60人	辻堂6-16-9	(公財) 藤沢市みらい創造財団	賃借物件の改修
亀井野	48人	亀井野4-7-7	(社福) 葵福社会	賃借物件の改修 (公募により選定)
六会	60人	亀井野646-2	(社福) 葵福社会	賃借物件の改修 (公募により選定)
駒寄	60人	石川646-8	(公財) 藤沢市みらい創造財団	児童クラブ用建物を建設

※高砂小学校区は平成29年7月開所予定、その他の小学校区は平成30年4月開所予定

2. ぽてんこ児童クラブ移設 21,060千円

3. 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 59千円  
 放課後児童クラブ（平成31年4月開所予定）の設置運営事業者の公募に伴い、審査選定を行うための学識経験者に対する選考委員会委員報酬

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,642,381		254,591		120	1,387,670
平成28年度	1,743,884		264,588		21,293	1,458,003
対前年度	△ 101,503		△ 9,997		△ 21,173	△ 70,333
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				254,591
	(その他)	高額療養費還付金				95
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、小学校6年生までの児童の入通院及び中学生の入院に係る医療費を助成する。

1. 医療費助成（扶助費） 1,579,351 千円  
 対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。  
 未就学児分（所得制限なし） 852,235千円 受診件数見込み 499,514件  
 小学生分（所得制限なし） 724,810千円 受診件数見込み 335,202件  
 中学生入院分（所得制限あり） 2,306千円 受診件数見込み 55件
  
2. 審査支払手数料 62,279 千円  
 小児医療証取扱い分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料  
 件数見込み 825,688件
  
3. 小児医療助成費事業事務経費 751 千円  
 旅費、消耗品費、印刷製本費

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	8,124		4,264			3,860
平成28年度	0		0			0
対前年度	8,124		4,264			3,860
特定財源の内訳	(県支出金)	子ども・青少年の居場所づくり推進事業費補助金				4,264

【事業概要】

ひとり親家庭や経済的に困難を抱えている家庭のうち、夜、保護者と一緒に過ごす時間が限られている、また十分な食事をとることができないなどの状況にある小・中学生等を対象に、安心して夜を過ごすことができる場を提供することを目的として、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行う。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 8,124 千円  
 《実施場所》 市内2カ所  
 《実施日数》 月12日以上（平日の夜間及び土日・祝日等の日中・夜間に実施）

（この事業は平成28年度6月補正で実施した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
8,124	8,124	8,124	8,124	32,496	

民生費

事業名	子ども・若者育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	11,666		800			10,866
平成28年度	10,917		800			10,117
対前年度	749		0			749
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				800

【事業概要】

ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、きめ細やかな相談により若者一人ひとりと向き合い、それぞれの状況に応じた自立を支援する事業を実施する。

また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。

1. (仮称)若者サポート事業業務委託 11,656 千円  
「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」から相談業務の一部を移管し、困難を有する若者や家族からの相談に対して専門スタッフがきめ細やかな面談（カウンセリング）を行い、個々の状況に応じた自立に向けて、ユースワークふじさわや関係機関等と連携を図りながら継続的に支援を実施する。  
(1) 対象者  
市内在住の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族  
(2) 支援内容  
・電話・来所・Eメールによる相談（産業労働課からの移管業務）  
・専門スタッフによる相談  
・自立に向けた具体的な個別支援計画の作成  
・福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引き継ぎ及び同行支援  
・学校教育相談センターや各学校との連携による切れ目ない支援
  
2. 子ども・若者育成支援事業事務経費 10 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
11,666	11,666	11,666	11,666	46,664	

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	3-3-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	23,108					23,108
平成28年度	34,263					34,263
対前年度	△ 11,155					△ 11,155

【事業概要】

就労支援事業として、困難を有する若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」及び求職者や勤労者を対象とした就労支援及び資格取得講座を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 16,884 千円  
 ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若者の自立に向け、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加、就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象に講演会や相談を実施する。

(1) 対象者

市内に在住・在学の概ね15歳から39歳の若者とその家族

(2) 支援内容

- ①各種相談 年間延べ1,300回
  - ・専門スタッフによる相談 ・個別継続支援
  - ・地域出張相談・出張セミナー・訪問相談
- ②就労準備応援 年間260回
  - ・社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）
  - ・就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、マナー講座等）
- ③就労応援 年間48回
  - ・就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）
  - ・社会体験（ボランティア体験）、就労体験
- ④就労後応援・家族応援 年間200回
  - ・電話・来所・Eメールによる相談・定着支援
  - ・家族交流会や講演会の実施



(出張セミナー風景)

2. 就労支援及び資格取得講座 5,921 千円  
 少子高齢化や女性の社会進出など社会情勢にあわせて、就労支援講座や資格取得講座、女性や中高年齢者向けの講座などを実施する。

3. 湘南合同就職面接会 303 千円  
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
16,884	16,884	16,884	16,884	67,536	

事業名	(新)奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 14	教育総務課				
指針体系コード	3-3-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	963				900	63
平成28年度	0				0	0
対前年度	963				900	63
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				900

**【施策等を必要とする背景】**

大学など高等教育への進学にかかる費用については、所得の多寡にかかわらず相当の額が必要とされるため、低所得者ほど所得に対する進学費用の割合が高く、その経済的負担が重くなっている。このような状況の中、学ぶ意欲と能力のあるすべての子どもたちが、質の高い教育を受け、能力や可能性を最大限のばし、それぞれの夢に向かって生きていくことができるよう、返済の必要がない給付型奨学金制度を創設するもの。

**【提案に至るまでの経緯】**

藤沢市地域包括ケアシステムの構築に向けた専門部会の中で、本市における奨学金制度のあり方について検討した結果、教育の機会均等を図るため実施することとした。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

奨学金の給付対象者を選考するための奨学金給付審査委員のうち公募委員を募集予定

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市教育振興基本計画に位置づけ、事業の進捗管理を行う。

**【将来にわたる効果及び費用】**

(1) 将来にわたる効果

本事業を継続していくことで、意欲と能力のある子どもたちが、経済的な理由で進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られ、教育の機会均等が図られる。

(2) 将来にわたる費用

年間3人程度、最大で年間12人程度に奨学金を給付する予定であることから、平成29年度以降平成33年度まで、毎年事業費の拡充が見込まれる。

**【事業概要】**

意欲と能力のある高校生等が、経済的な理由で進学を断念することのないよう、給付型奨学金制度を実施する。

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 奨学金                            | 900 千円 |
| 奨学生に対して入学金相当の入学準備金を給付する。          |        |
| 2. 奨学金給付審査委員報酬                    | 56 千円  |
| 奨学生を選考・審査する奨学金給付審査委員に対して日額報酬を支払う。 |        |
| 3. 奨学金関係事務経費                      | 7 千円   |
| 奨学金給付事業に必要な事務用品等を購入する。            |        |

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
963	3,188	5,348	7,508	17,007	

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01			福祉総務課 (新室名：地域包括ケアシステム推進室)		
指針体系コード	4-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,091	582				509
平成28年度	1,220	0				1,220
対前年度	△ 129	582				△ 711
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582

【事業概要】

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまち（地域）をめざし、市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働により、13地区ごとの特性を活かした支えあいの地域づくりと、その取組を支える仕組み・連携体制づくりを中心とした、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777 千円  
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る。（年4回）
2. 藤沢型地域包括ケアシステムの普及啓発 251 千円  
藤沢型地域包括ケアシステムの基本理念を共有し、市民一人ひとりが地域社会の一員として地域づくりについて考え、取り組むきっかけづくりとして、身近なテーマを切り口としたシンポジウム（年2回）や、ワークショップ等の開催、啓発リーフレット等の作成・配布による普及啓発を図る。
3. 藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた調査研究（旅費、負担金） 63 千円  
地域包括ケアシステムの推進や地域づくり等に関する研修会への参加、近隣市等への視察により、先進事例等の調査研究を行う。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
1,091	1,287	1,091	1,091	4,560	

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01			福祉総務課 (新室名：地域包括ケアシステム推進室)		
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	100,309	65,785				34,524
平成28年度	87,955	58,359				29,596
対前年度	12,354	7,426				4,928
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				36,765
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				29,020

<拡充事業> コミュニティソーシャルワーカーの増員配置及び地域の相談支援体制の強化

【施策等を必要とする背景】

本市が取組を進めている「藤沢型地域包括ケアシステム」では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等すべての市民を対象とすることを基本理念の一つとしており、その重点テーマである「地域の相談支援体制づくり」の構築にあたっては、地域の多様な相談支援機関の横断的な連携体制を構築することが必要となっている。

また、課題を抱える人を地域で支える支援（いわゆる「個別支援」）と合わせて、それらを支える地域をつくるための支援（いわゆる「地域づくり」）の視点からも、多様な活動の推進、福祉関係機関にとどまらない多様な機関との横断的連携が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

平成27年4月 生活困窮者自立支援法の施行に伴い、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、及びその他の任意事業を開始

平成28年4月 市直営の地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」に六会地区を中心とした北部地域を担当する相談支援員1人をモデル配置  
藤沢市社会福祉協議会に自立相談支援事業の一部委託を開始し、「バックアップふじさわ社協」を開設するとともに、モデル地区（六会、湘南大庭、鶴沼）で活動するコミュニティソーシャルワーカー3人を配置

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市地域福祉計画2020において「誰もが安心して暮らせる仕組みづくり」のひとつとして、福祉サービスを必要とする人への自立支援・生活支援を行うこととしている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- (1) コミュニティソーシャルワーカーを配置することで、これまで以上に地域の課題、ニーズの早期把握とそれに対応できるサービス創出や担い手の活性化を推進することとなり、生活困窮者をはじめ支援が必要な人と地域のつながりを確保し、地域全体で支える基盤の構築に寄与する。
- (2) 本市の生活困窮者自立相談支援機関（バックアップふじさわ及びバックアップふじさわ社協）内に相談支援包括化推進員を位置づけ、様々な相談支援機関や福祉分野以外の専門機関等とも協働し、それぞれの役割を果たしつつ、チームアプローチによる支援が行われるようネットワークの構築を進める。

2. 将来にわたる費用

平成29年度以降は事業内容の拡充等に伴い、委託料等の増が見込まれる。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
100,309	105,120	119,120	126,120	450,669	

## 【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

「藤沢型地域包括ケアシステム」の基盤となる地域の相談支援体制及び地域づくりの推進に向けて、生活困窮者自立支援制度の中核となる自立相談支援事業の一部及び共助の基盤づくり事業、多機関の協働による包括的支援体制構築事業の一部を市社会福祉協議会へ委託し、コミュニティソーシャルワーカー5人の配置を行う。

- (拡) 1. 自立相談支援事業 (必須事業) 46,521 千円  
《事業内容》 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対し、必要な情報提供及び助言を行うとともに、支援計画に基づく計画的な支援を行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る。事業を実施するにあたり、市直営の実施機関に加え、事業の一部を市社会福祉協議会に委託し、コミュニティソーシャルワーカー等を配置する。また、湘南台市民センター内に新たに開設する北部福祉総合相談室に本事業に基づく相談支援員を配置し、北部地域の相談支援体制の強化を図る。  
《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営)  
市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」(一部委託)
2. 住居確保給付金の支給 (必須事業) 2,500 千円  
《事業内容》 離職者の住居を確保し、就職活動を支えるため、家賃相当額を支給する。  
《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営)
3. 就労準備支援事業 (任意事業) 14,437 千円  
《事業内容》 就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立段階からの訓練を行う。  
※生活保護法に基づく就労準備支援事業(生活保護受給者対象)と一体的に事業を実施  
《実施機関》 委託事業として実施
4. 家計相談支援事業 (任意事業) 8,937 千円  
《事業内容》 家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等の支援を行う。  
《実施機関》 委託事業として実施
5. 学習支援事業 (任意事業) 16,670 千円  
《事業内容》 貧困の連鎖を防止する観点から、生活困窮家庭の子どもへの学習支援や居場所づくり、学習の重要性についての保護者の理解促進などの支援を市内3地区(鵜沼地区、六会地区、湘南大庭地区)で行う。  
《実施機関》 委託事業として実施
- (新) 6. 共助の基盤づくり事業 (任意事業) 7,355 千円  
《事業内容》 身近な地域において、誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支えあいによる共助の取組の活性化を図りつつ、支援が必要な人と地域のつながりを確保し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。  
《実施機関》 市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」(委託)
- (新) 7. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業 (任意事業) 3,889 千円  
《事業内容》 多分野・多機関にわたる相談支援機関等の連携体制の構築を図るとともに、他職種間の連携・協働を図りつつ、地域に不足する社会資源の創出を通じて、複合的な課題を抱える者の自立の促進を図る。  
《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営)  
市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」(一部委託)

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	610,262	140,594	89,390		7,461	372,817
平成28年度	615,520	138,909	89,185		10,740	376,686
対前年度	△ 5,258	1,685	205		△ 3,279	△ 3,869
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				140,594
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				70,298
	(県支出金)	市町村事業推進交付金				19,092
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,736
	(その他)	地域活動支援センター利用他市負担金				1,725

【事業概要】

障がい児者の自立と社会生活の推進を図るため、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業（地域生活支援事業）を実施する。

1. 手話通訳等の派遣・配置 8,657 千円  
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。
2. 障がい者相談支援事業の実施 88,749 千円  
障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施する。
3. 日常生活用具の給付 88,743 千円  
重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。
4. 移動支援事業の実施 162,903 千円  
屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。
5. 日中一時支援事業の実施 61,782 千円  
障がい児者の日中活動の場を確保し、障がい児者の家族に対して一時的な支援を行う。
6. 訪問入浴事業の実施 37,043 千円  
自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。
7. 手話講習会事業等の実施 1,706 千円  
手話講習会、要約筆記体験会を実施する。
8. 障がい児者一時預かり事業 26,697 千円  
緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。
9. 障がい者虐待防止センターの運営等 5,197 千円
10. 地域活動支援センター運営費等の助成 125,333 千円
11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 2,400 千円
12. 藤沢市自立動作支援装具（ロボットスーツ）着用訓練費助成事業 1,052 千円  
「湘南ロボケアセンター」を活用し、身体に障がいのある人が自立動作支援装具（ロボットスーツ）を使用したトレーニングを行うことにより、体力の向上及び身体機能の維持を図る。

（この事業は平成28年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
81,986	99,229	99,229	112,301	392,745	

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	12,046					12,046
平成28年度	13,250					13,250
対前年度	△ 1,204					△ 1,204

<拡充事業> 介護ロボット導入支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

超高齢社会に突入している日本において、親の介護と仕事が両立できず退職する「介護離職」が問題化している。政府が掲げる一億総活躍プランにおいて、社会保障については、介護離職者が年間10万人を超える現実から、現役世代の「安心」を確保しなければならないとして、「介護離職ゼロ」の目標が示された。このためにも、介護従事者の負担を軽減し、離職を防止することが重要であり、介護職場へのロボット導入により、介護サービス基盤を充実させ、質の高い介護サービスを提供する体制の整備が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

介護職場への介護ロボットの導入支援について、神奈川県高齢者福祉施設協議会藤沢地区福祉施設連絡会との意見交換を重ね、平成28年度に実施した国の介護ロボット等導入支援特別事業による施設の導入状況を踏まえ、本市独自の導入支援を図るために既存の人材育成定着事業の補助制度の見直しを行った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

第7期藤沢市介護保険事業計画（平成30～32年度）において、人材育成定着事業の取組として位置づける予定

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

介護ロボットの導入に伴う介護従事者の負担軽減を図り、その実際の活用モデルを他の介護サービス事業者に普及することで、働きやすい職場環境が整備され、介護従事者の離職防止へとつながる。

2. 将来にわたる費用

今後も継続的な財政負担が必要となる。

【事業概要】

高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを継続的に提供できる体制づくりを支援するため、介護職員初任者研修の受講者支援及び特別養護老人ホーム、地域密着型サービス事業所等の介護職場における介護人材の確保と技能の向上を目的に、各種助成事業を行う。

- 介護職員初任者研修受講料助成事業 300千円  
介護職員初任者研修受講者を対象として、研修修了後、一定の就労要件を満たした場合に受講料の一部（上限2万円）を助成する。
- 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業 9,984千円  
市内で特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び介護老人保健施設を運営する社会福祉法人等に対し、介護職員の資格取得や研修への参加、職員の募集、また介護ロボットの導入に係る費用の一部（上限100万円）を助成する。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
12,046	15,075	18,784	18,784	64,689	

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01			健康増進課		
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	75,576	1,313	2,441			71,822
平成28年度	76,137	0	2,507			73,630
対前年度	△ 561	1,313	△ 66			△ 1,808
特定財源の内訳	(国庫支出金)	国民健康・栄養調査委託金				1,313
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441

【事業概要】

藤沢市健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民の健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議の開催  
964 千円  
健康増進計画（第2次）に掲げた健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うため、専門家や有識者などで構成する各会議を開催する。
2. がん対策や健康づくり、栄養・食生活、歯科保健等に関する普及啓発、人材育成等、各種事業の実施  
1,506 千円
3. 保健医療センター専門職員による健康づくり推進事業の実施 64,982 千円
  - ・健康づくり支援事業  
生活習慣病予防及び重症化予防のための健康支援プログラム、普及啓発事業の実施
  - ・健康づくりトレーニング  
各種検査による健康診査(健康度チェック)や、運動時の身体機能を判定する体力度チェックにより、一人ひとりにあわせたトレーニングメニューを作成、実践する。
  - ・地域支援事業  
運動指導員、保健師等が地域での身体活動促進に向けたグループや団体などと連携して市民の自主的な健康づくりに繋がる様々な活動メニューの提供や相談、指導等を実施。
4. 健康づくりに関するボランティアの養成及び活動支援、市民活動団体との協働事業の実施  
1,841 千円  
健康づくり普及推進団体、食生活改善推進団体等への事業委託等
5. 健康づくりの普及啓発を目的としたイベント等の開催 328 千円
6. 健康増進計画（第2次）に基づく健康づくり推進事業 3,709 千円
7. 未病サミット参加負担金 200 千円
8. 地域保健法に基づく、栄養・食生活、歯科保健等の事業の実施 1,432 千円
9. 健康づくり推進事業事務経費 614 千円  
旅費、消耗品費、役務費他

(8の事業は、地域保健課の地域保健事業費から一部移管した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
75,576	75,576	75,576	75,576	302,304	

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康増進課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	687,816	2,040				685,776
平成28年度	657,265	2,691				654,574
対前年度	30,551	△ 651				31,202
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				2,040
<b>【事業概要】</b>						
<p>がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。</p> <p>なお、国の補助を受けて、乳がん検診は40歳、子宮頸がん検診は20歳の方に対して、無料クーポン券の配布を継続して実施する。</p>						
<p>1. 胃がん検診委託費 101,702 千円 40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。 自己負担額は3,000円（70歳以上の人は無料） 実施期間4月～3月</p>						
<p>2. 胃がんリスク検診委託費 14,989 千円 40・45・50・55・60・65・70歳の市民を対象に、採血による検診を行う。 自己負担額は1,000円 実施期間6月～10月</p>						
<p>3. 子宮頸がん検診委託費 184,316 千円 20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。 自己負担額は2,000円（70歳以上の人は無料） 実施期間4月～3月 ただし、国が指定した対象年齢である20歳の人については、国の補助を受けて、無料で行う。対象者には、無料で受診できるクーポン券を個別通知する。</p>						
<p>4. 乳がん検診委託費 132,504 千円 40歳以上の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。 自己負担額は40歳から49歳まででマンモグラフィ2方向撮影は3,000円、50歳以上でマンモグラフィ1方向は1,800円（70歳以上の人は無料） 実施期間4月～3月。また、国が指定した対象年齢である40歳の人については、国の補助を受けて、マンモグラフィ検診を無料で行う。対象者には、無料で受診できるクーポン券を個別通知する。</p>						
<p>5. 肺がん検診委託費 143,059 千円 40歳以上の市民を対象に、胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。 自己負担額は600円（70歳以上の人は無料） 実施期間6月～10月</p>						
<p>6. 大腸がん検診委託費 50,498 千円 40歳以上の市民を対象に、便潜血反応検査による検診を行う。 自己負担額は600円（70歳以上の人は無料） 実施期間6月～10月</p>						
<p>7. 前立腺がん検診委託費 32,744 千円 50歳以上の男性市民を対象に、PSA検査による検診を行う。 自己負担額は1,000円 実施期間6月～10月</p>						
<p>8. 受診率向上対策としての未受診者への再勧奨通知（リコール）の実施経費 348 千円</p>						
<p>9. がん検診事務経費 賃金、消耗品費、印刷製本費他 27,656 千円</p>						
<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>						新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計		
14,989	17,858	30,000	30,300	93,147		

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 05			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	156,095	19,500		45,900		90,695
平成28年度	114,796	24,500		13,200		77,096
対前年度	41,299	△ 5,000		32,700		13,599
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				19,500
	(地方債)	公園建設事業債				14,400
	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				31,500

【事業概要】

公園を安全・安心に利用できることを目的とし、遊具の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、「藤沢市健康増進計画」に基づき、公園健康遊具を増設する。

また、土砂災害警戒区域内に位置する法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた整備を進める。

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 公園施設の老朽化等対策  | 105,234 千円 |
| (1) 委託料   | 14,770 千円  |
| ・都市公園遊具点検業務委託（266公園）<br>遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。 |            |
| ・公園施設長寿命化計画策定委託   |            |
| ・二番構公園他6公園フジ管理業務委託<br>剪定や施肥等の管理を実施し、市の花であるフジの保護及び育成を図る。       |            |
| (2) 工事請負費   | 84,906 千円  |
| ・遊具改修工事（第二下土棚公園他5公園）  |            |
| ・歩道橋塗装改修工事（辻堂南部公園）  |            |
| ・管理棟デッキ改修工事（引地川親水公園）  |            |
| ・木橋高欄改修工事（引地川親水公園）  |            |
| ・公園健康遊具増設工事（亀井野公園他6公園）  |            |
| (3) 需用費   | 1,307 千円   |
| 塗装劣化が進んでいる遊具について、延命化を図るために塗装を行う。                              |            |
| (4) 事務経費  | 4,251 千円   |
| 2. 法面对策   | 50,861 千円  |
| (1) 法面調査委託（片瀬山公園他1公園）   | 5,578 千円   |
| 法面对策を検討するための基礎資料として、地形を把握するための測量を行う。                          |            |
| (2) 法面設計委託（御所ヶ谷公園）  | 10,001 千円  |
| 調査結果に基づき、対策工事を行うための実施設計を行う。                                   |            |
| (3) 法面对策工事（大庭城址公園）  | 35,282 千円  |
| 前年度までに調査・設計を行った法面について、対策工事を行う。                                |            |



施工前



施工後

(参考) 遊具改修工事施工イメージ

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
156,095	215,583	207,719	237,500	816,897	

総務費

事業名	市民活動支援施設運営管理費（前年度事業名：市民活動推進センター運営管理費）					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 02	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	59,331				60	59,271
平成28年度	59,634				60	59,574
対前年度	△ 303				0	△ 303
特定財源の内訳	(その他)	光熱水費実費収入				60

【事業概要】

市民活動の自立を推進し、市民活動が活発に行われることを目的として、公益的な市民活動を行い、または行おうとする市民活動団体及び個人を対象に、市民活動の場の提供、情報提供、相談、人材育成等を行う。

1. 市民活動推進センター（本館）運営管理 44,200 千円
  - ・賃借料 20,988 千円
  - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 20,724 千円
  - ・その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） 2,488 千円
  
2. 市民活動プラザむつあい（分館）運営管理 14,806 千円
  - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 14,628 千円
  - ・その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） 178 千円
  
3. 指定管理者審査選定 325 千円
  - ・平成30年度からの指定管理者の審査選定



市民活動推進センター



市民活動プラザむつあい  
平成28年6月に六会市民センター内に開設

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
59,331	59,006	59,006	71,148	248,491	

総務費

事業名	公益的市民活動助成事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 04	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	2,000					2,000
平成28年度	2,000					2,000
対前年度	0					0

【事業概要】

市民活動の活性化を図るため、市内で活動する市民活動団体等の組織基盤を強化する取組を対象に、公開プレゼンテーション等による審査選考により団体を選定し、助成を行う。

1. 公益的市民活動に係る助成のための経費 2,000 千円  
 市民を対象とした公益的な市民活動を行う団体が組織基盤の強化を図る取組を対象として助成を行う。1団体2回まで。

〔一般の団体〕

限度額40万円、補助率は団体の予算額の50%以内。

ただし、設立3年未満で初めて助成を受けようとする団体については、補助率は団体の予算額の80%以内。

〔学生や若者を中心とする団体〕

限度額20万円、補助率は団体の予算額の90%以内。



公開プレゼンテーションによる中間報告会



助成団体及び市民活動推進委員との意見交換会

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	

総務費

事業名	市民協働推進関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	9,021					9,021
平成28年度	7,698					7,698
対前年度	1,323					1,323

【事業概要】

多様な主体との共感によるマルチパートナーシップの考え方に基づいて、市民活動団体と行政との協働による施策・事業を進めるため、市民活動団体から事業アイデアの募集を行うとともに、これまでに採択した事業を行う。

- 協働によるまちづくりの推進 105 千円  
・協働コーディネーター謝礼
- 「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業」提案制度の実施 8,916 千円  
市民活動団体の公共サービスへの参入機会拡充を目的として、地域課題等を解決するための事業アイデアの募集を行うとともに、提案団体と市が協働して採択事業を実施する。

(実施事業)

平成28年度～平成29年度（平成27年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ設定型	スマートフォンアプリ「ふじさわ防災ナビ」魅力アップ事業	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	防災危機管理室 (新課名：防災政策課)
テーマ設定型	藤沢宿活性化事業 藤沢宿「昔」と「遊び」でにぎわいを	昔の遊びを伝える会	郷土歴史課
自由提案型	小学5・6年生のためのサマースクール事業	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク	青少年課

平成29年度～平成30年度（平成28年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ設定型	自治会・町内会運営サポート事業	一般社団法人 日本キャリアアップ支援協会	市民自治推進課
テーマ設定型	市民参加による遊休農地解消事業及び農業理解の促進に関する事業	藤沢市新規参入者連絡会	農業水産課 農業委員会事務局

(事業募集概要)

- 事業年度  
平成30年度及び平成31年度に実施する事業
- 事業種別  
テーマ設定型：政策課題等に基づき市が設定したテーマに基づく事業アイデア  
自由提案型：市民ニーズ等を踏まえて、市民活動団体が自由に提案する事業アイデア

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
9,021	13,446	16,105	16,105	54,677	

事業名	(新)地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 25 説明 01			福祉総務課 (新室名：地域包括ケアシステム推進室)		
指針体系コード	4-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	38,003					38,003
平成28年度	0					0
対前年度	38,003					38,003

**【施策等を必要とする背景】**

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、地域の互助力を向上させるため、地域における住民主体の支えあい活動の活性化を図る。

**【提案に至るまでの経緯】**

本事業は、従来、藤沢市地区ボランティアセンター事業（福祉総務課）、藤沢市地域の縁側事業（市民自治推進課）、藤沢市安全・安心ステーション事業（防犯交通安全課）として、各課で補助事業を実施してきた。

しかしながら、その事業内容は住民を主体とした支えあいの活動であるという点において類似しているなかで、補助金交付手続きの簡素化や、重複した補助金交付を防止する観点から、事業の一元化を検討してきた。

その結果、平成28年度には各事業の補助金交付要綱を一元化し、平成29年度からは事業主管課及び予算も含めた一元化を図ることとした。

なお、今回の補助金一元化にあたっては、地域のニーズや実情を勘案し、従来からの補助制度では対象としていなかった住民主体の活動についても、補助対象として拡大を図ることとした。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

各事業実施団体との意見交換を行ったほか、市社会福祉協議会を通じて地域活動のニーズを把握するなど、市民意見を取り入れた。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市地域福祉計画2020において、地域で行動し、互いに支えあう活動に向けた「ボランティアの育成」、「活動の場・交流の場づくり」の施策として位置づけられている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

地域での住民主体の支えあい活動が活性化することにより、「誰もが住みなれた地域でその人らしく安心して暮らし続けることができるまち」を将来像とする藤沢型地域包括ケアシステムの推進が図られる。

2. 将来にわたる費用

今後、各地区で新たに支えあいの活動を実施する団体に対し、同様の補助が見込まれる。

支えあう地域づくり活動補助金見込額

平成30年度	44,640 千円
平成31年度	45,607 千円
平成32年度	45,860 千円

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
38,003	44,640	45,607	45,860	174,110	

**【事業概要】**

藤沢型地域包括ケアシステムを推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 28,048 千円  
(単位：千円)

補助メニュー	団体数	予算額
生活支援事業 家事、買い物・病院等の同行等、生活の困りごとを抱える住民に対して生活支援を行う事業	1 (1)	400
地域の縁側事業 「基本型」…誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	28 (10)	13,371
「特定型」…特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	15 (10)	
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚、地域住民による防犯・見守り活動の地域拠点	6	2,672
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点	12	11,605

団体数のうち、( )は新規団体の見込み数

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 9,955 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 237 千円  
地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対しポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を、前年度の付与ポイントに対して支給する。
- (2) 広告掲載料 550 千円  
地域の縁側事業の周知、啓発として、広告を掲載する。
- (3) 地域の縁側コーディネート事業 9,168 千円  
地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、コーディネート業務を委託する。

(前年度の地域福祉推進事業費の一部、地域の縁側事業費及び防犯対策強化事業費の一部を統合した事業)

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	4-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,534					1,534
平成28年度	498					498
対前年度	1,036					1,036

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、地域力を生かした様々なまちづくり事業を行う。

1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 278 千円  
 地区内の公園、小・中学校、特別支援学校等への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。  
 ・花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）

2. 交通不便地区解消検討事業 10 千円  
 西俣野地区で実証運行中の予約型乗合タクシーの周知及び認知度の向上と利用者拡大を図るため、チラシを作成する。  
 ・チラシ作成（消耗品費）

(新) 3. 六会まちの相談室事業 20 千円  
 幅広い層を対象にライフプランの相談を受ける。また、将来を安心して暮らすためのライフプランセミナーを行う。  
 ・ライフプランセミナー講師謝礼（報償金）

(新) 4. 六会人材センター推進事業 689 千円  
 地域の人材発掘を行うとともに、地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア先とのコーディネート事業等を行う。  
 ・六会人材センターの運営（委託料）

(新) 5. 六会まちおこし活動支援事業 297 千円  
 地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を行い活気あるまちづくりを目指す。また、六会日大前駅ロータリーに12月から1月にかけてイルミネーションを設置する。  
 ・イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）

(新) 6. 六会の伝統文化と歴史調査事業 240 千円  
 六会地区の歴史再発見と地元愛を育むため、歴史年表・冊子を作成する。  
 ・歴史年表の作成（印刷製本費）

-----  
 【他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費】

- 公園提案事業 (6,329 千円)  
 子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊べる公園にするため、六会地区郷土づくり推進会議から提案された課題解消のための公園改修工事を行う。  
 ・三屋道公園：石灰岩ダスト舗装、ベンチ設置（工事請負費）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上

	【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
市民センター分	1,534	1,915	1,625	1,635	6,709	拡充
他の事業費計上分	6,329	6,000	6,000	6,000	24,329	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	4-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	3,204					3,204
平成28年度	3,204					3,204
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円  
地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。  
・コーディネーター謝礼、事務費（委託料）
2. まちかど相談事業 196 千円  
高齢者の生活支援や子育て環境の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し、臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。  
・臨床心理士謝礼、交通費（補助金）
- (新) 3. 民俗文化財等継承事業 46 千円  
制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。  
・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円  
日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。  
・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）
5. 江の島道の整備事業 750 千円  
旧江の島道の史跡の周辺整備等を実施し、景観の向上を図る。  
・道標移設、設置箇所周辺の景観整備（施設修繕費）
6. まちかどミニベンチ設置事業 100 千円  
人にやさしい環境の向上を図るため、地域の高齢者や観光で訪れた人たちが気軽にひと休みできるミニベンチを設置する。  
・ミニベンチ設置（消耗品費）
7. 青少年居場所事業 408 千円  
青少年の健全育成を図るため、青少年サポーターを中心に、片瀬しおさいセンターを利用する青少年への声かけや見守り等を通して、青少年の居場所事業を支援する。  
・青少年サポーター謝礼、事務費等（補助金）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
3,204	3,204	3,204	3,204	12,816	

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	4-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,617					1,617
平成28年度	1,257					1,257
対前年度	360					360

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、明治地区の地域まちづくり事業を実施する。

1. 歴史・文化継承事業 1,232 千円

明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。

明治地区の歴史・文化の再発見及び郷土愛を育むため、藤沢の教育発祥の地といわれる耕余塾の初代学長である小笠原東陽の生涯を伝える「小笠原東陽ものがたり」の絵本を制作し、その活用を図る。

  - ・明治郷土史料室の運営（委託料）
  - ・絵本「小笠原東陽ものがたり」の制作（印刷製本費）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 162 千円

自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、様々な分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民・学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。

  - ・啓発グッズ、ポスター等（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 103 千円

明治地区内の子育てグループやフリースペースにこここ、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。

  - ・講師謝礼、ポスター作成等（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 明治地区健康体操推進事業 120 千円

明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。

  - ・チラシ作成（消耗品費）



明治地区マナーアップ推進事業  
(マナーアップ街頭キャンペーン)



子育て支援充実事業  
(明治発！子育て応援メッセ)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
1,617	1,797	1,897	1,897	7,208	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	4-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	598					598
平成28年度	300					300
対前年度	298					298

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、地域資源を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 田園パーク構想推進事業 598 千円  
 御所見地区の活性化を促進するため、地域団体・ボランティアと連携して、地区拠点としての「少年の森」及び周辺の整備の検討を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進及び「御所見ブランド」の創出を目指す。
- ・花の植栽活動（消耗品費）
  - ・環境整備に関するチラシ作成（印刷製本費）
  - ・御所見グルメの更なる開発等（補助金）



田園パーク構想推進事業  
 （御所見野菜を使用した「ごしょみ汁」） （地域ボランティアの活動）



整備前 整備後  
 （少年の森植栽帯花植え作業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
598	598	598	598	2,392	

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	4-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	244				230	14
平成28年度	244				0	244
対前年度	0				230	△ 230
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				230

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「“人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 86 千円  
 高齢者が地域で安心して暮らし続けられるように構築した「高齢者見守りネットワーク」を広く地域住民・関係機関等に周知するため、リーフレットを作成し、配布する。  
 ・リーフレット作成（印刷製本費）
2. 遠藤魅力アップ推進事業 158 千円  
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計7基）を設置する。  
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）



高齢者見守りネットワーク体制推進事業  
 (高齢者見守りネットワークリーフレット)



遠藤魅力アップ推進事業  
 (仮設トイレ設置)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
244	344	244	344	1,176	

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	4-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,541					1,541
平成28年度	1,151					1,151
対前年度	390					390

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 200 千円  
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施する。  
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 120 千円  
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し、長後版の子育てメッセを開催する。  
 ・「長後子育てメッセ」の開催（補助金）
3. 地産地消推進事業 300 千円  
 長後地区で栽培されている果物やその他の特産物を紹介するとともに、商店街の活性化にもつながる地産地消のイベントを行う。  
 ・地産地消イベントの実施（補助金）
4. 地域人材発掘・育成事業 60 千円  
 地域コミュニティを担う人材の発掘や育成について、情報交換の場作り等の調査研究を行う。  
 ・人材育成講座講師謝礼（報償金）
- (新) 5. ちよご見守りネットワーク事業 160 千円  
 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る。  
 ・チラシの作成（印刷製本費）
- (新) 6. 観光・歴史資源開拓事業 530 千円  
 地区内の名所、旧跡の説明板の整備等を行う。  
 ・名所、旧跡説明板の設置、リーフレットの作成（施設修繕費・印刷製本費）
- (新) 7. 交通不便地域移動支援事業 41 千円  
 長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。  
 ・住民ニーズの調査（消耗品費）
- (新) 8. 花いっぱい運動推進事業 130 千円  
 花の広場での花植え活動等の支援を行う。  
 ・花の広場の管理、プランターへの花植え等（補助金）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
1,541	1,420	1,360	1,360	5,681	

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07		辻堂市民センター			
指針体系コード	4-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	942					942
平成28年度	1,075					1,075
対前年度	△ 133					△ 133
<b>【事業概要】</b>						
地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施する。						
<p>1. 生活マナーアップ啓発事業 <span style="float:right">11 千円</span>            地域住民と来訪者（観光客）が自転車、ペット、ごみなどの生活マナーを守るように、チラシ・キャンペーン・マナー看板等により啓発を行い、地域の生活環境の向上を図る。            ・啓発チラシ作成（消耗品費）</p> <p>2. 健康推進事業 <span style="float:right">61 千円</span>            地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域で健康な生活を続けていくことを目指し、身体を動かす講座、健康講座等を開催する。            ・講師謝礼、チラシ作成（報償金・消耗品費）</p> <p>3. 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業 <span style="float:right">63 千円</span>            地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取り組みを進めるとともに、地産地消のきっかけづくりを図るため、「辻堂朝市」を実施する。            ・チラシ作成（消耗品費）</p> <p>4. 環境美化キャンペーン事業 <span style="float:right">126 千円</span>            地域住民が愛着を持っている辻堂駅南海岸線の景観を長く維持するため、住民参加による環境美化活動を実施するとともに、住民活動を支援する。            ・美化活動用具、花苗（消耗品費）</p> <p>5. 辻堂グリーン回廊事業 <span style="float:right">235 千円</span>            地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道等を自転車や徒歩で巡ることができる「辻堂グリーン回廊」を周知、活用するため、案内板等を整備するとともに、辻堂グリーン回廊ウォーキングを実施する。            ・ウォーキング講師謝礼、チラシ作成、案内板設置（報償金・消耗品費・委託料）</p> <p>6. 伝統文化継承事業 <span style="float:right">191 千円</span>            地区内の伝統文化等を次世代に継承するため、伝統文化伝承講座の開催や名所旧跡説明板の設置を行う。            ・講師謝礼、チラシ作成、名所旧跡説明板設置（報償金・消耗品費・手数料・委託料）</p> <p>7. 防災対策推進事業 <span style="float:right">255 千円</span>            災害に対する地域住民の不安解消を図るため、沿岸部に位置する辻堂地区の住民に津波災害等、防災に対する正しい知識の普及や情報の発信を目的とした防災講演会を開催する。            ・講師謝礼、チラシ作成、会場使用料（報償金・消耗品費・使用料）</p>						
<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>						新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
市民センター分	942	942	578	578	3,040	
他の事業費計上分	979	979	979	979	3,916	

〔他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費〕

- 環境美化キャンペーン事業 (979 千円)  
まちと自然が調和する辻堂駅南海岸線の景観を長く維持保全し、良好な状態に保つ環境  
保全事業を実施する。  
・ 除草作業 (手数料)  
※予算は、道路維持管理業務費 (地域執行分) に計上



健康増進事業  
(健康講座の開催)



環境美化キャンペーン事業  
(住民参加による環境美化活動の実施)



辻堂グリーン回廊事業  
(辻堂グリーン回廊ウォーキングの実施)



防災対策推進事業  
(防災講演会の開催)

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	4-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,513					1,513
平成28年度	1,153					1,153
対前年度	360					360

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 地域活動ネットワーク事業 473千円  
 地域住民が地域活動に参加しやすい環境をつくるため、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援する。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費・印刷製本費）  
 ・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）

2. 「ぜんぎょう」を知ろう事業 582千円  
 わがまち「ぜんぎょう」への郷土愛の醸成を図るため、「善行かるた」などを用いて、善行に関する様々な情報を地域住民に提供する。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）  
 ・ 「善行かるた」の増刷（印刷製本費）

3. 高齢者等移動支援事業 358千円  
 坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することによる不便を感じる者に対する移動手段の運営を支援する。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）  
 ・ 地域情報リーフレット（印刷製本費）

- (新) 4. 活気ある地域づくり事業 50千円  
 活気ある地域づくりを進めるため、自治会・町内会とも協力しながら、地域団体の活動や地域イベントの再構築など、地域の活性化を図る。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）

- (新) 5. つづけよう きれいな善行 50千円  
 きれいで住みよい地域環境を保つため、地域団体と協力しながら、地域の美化推進を図る。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）



地域活動ネットワーク事業  
 (地域団体を紹介した情報紙の発行)



「ぜんぎょう」を知ろう事業  
 (地域の自然や歴史を詠んだ善行かるた)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
1,513	931	931	931	4,306	

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	4-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	553					553
平成28年度	418					418
対前年度	135					135

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 健康なんでも相談事業 258 千円  
 地域における健康長寿社会の実現に向けて、健康増進への意欲を高め、生き生き健康のまちづくりを推進するため、医療相談支援事業を行う。  
 ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）  
 ・健康増進講習会等の講師謝礼（報償金）

2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 160 千円  
 地域内の3つの関係団体が連携しながら一緒に実施している地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、参加者の拡充を図る。  
 ・消耗品、事務費等（補助金）

- (新) 3. 健康体操普及推進事業 135 千円  
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及を図る。  
 ・のぼり旗作成等（消耗品費）

-----  
 【他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費】

- 歩行空間バリアフリー事業 (2,866 千円)  
 高齢者・障がい者など誰にでも優しい歩行空間を整備するため、歩道の段差の解消とバリアフリー化を進める。  
 ・歩車道境界ブロック改修（施設修繕費）  
 ※予算は、道路改修舗装費(地域執行分)に計上
- 街路樹景観保全事業 (3,275 千円)  
 辻堂駅遠藤線（中央けやき通り）の景観を長く維持保全するため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施する。  
 ・けやき並木の剪定、落枝防止（手数料）  
 ※予算は、道路維持管理業務費（地域執行分）に計上
- 健康増進公園改修事業 (2,827 千円)  
 生き生き健康のまちづくりを推進するため、日頃から健康づくりを身近なところで行えるよう健康増進公園の整備を図る。  
 ・小糸台公園に健康遊具を設置（工事請負費）  
 ※予算は、公園改修費(地域執行分)に計上

	【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
市民センター分	553	6,553	6,553	6,553	20,212	拡充
他の事業費計上分	8,968	8,042	8,444	5,422	30,876	

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	4-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,241				1,241	0
平成28年度	2,512				2,178	334
対前年度	△ 1,271				△ 937	△ 334
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,241

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けた取組として、湘南台地域まちづくり事業を実施する。

1. ようこそ先輩 i n 湘南台事業 50 千円  
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 i n 湘南台」を実施する。  
 ・先輩講師謝礼、資料作成（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 33 千円  
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる緑の回遊路に親しむ事業を実施する。  
 ・ウォークイベントの開催経費（消耗品費）
3. 子育てネットワーク事業 238 千円  
 地域の子育て環境向上のニーズに対応するため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などを支援する。  
 ・「湘南台子育て応援メッセ」の実施（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 220 千円  
 地域活動を支える人材不足が課題となっており、その解決を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、様々な地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「ゆめまる地域塾」を公民館と連携して行う。  
 ・地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」の実施（委託料）
5. 文化創造事業 700 千円  
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組として、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図る事業を行うため、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを実施する。  
 ・駅地下イベント広場における展示ギャラリーや活性化イベントの実施（委託料）



ようこそ先輩 i n 湘南台事業  
(先輩講師による講演)



文化創造事業  
(大学生による和太鼓の演奏)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
1,241	1,241	1,241	3,741	7,464	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	4-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,431					1,431
平成28年度	1,242					1,242
対前年度	189					189

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、地域住民と協働し、まちづくり事業を実施する。

1. 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 866 千円  
 地域の小学3～6年生児童を対象とし、様々な学習や体験ができる機会を作り、地域の協力スタッフや多世代との交流を通して、人の“つながり”の大切さを学ぶことができる場づくりを行う。  
 ・スタッフ謝礼、イベント時の昼食、教材、チラシ・リーフレット作成  
 (報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費)

2. 鶴(くぐい)まつり事業 409 千円  
 鶴沼運動公園芝生広場において、地産地消やまちおこし等を目的に、地元の飲食店やサークルなども参加し、地域住民主体のまつりを開催する。  
 ・チラシ・ポスター作成、会場運営費(印刷製本費・補助金)

- (新) 3. 認知症対策事業 156 千円  
 地域の中で、認知症の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、認知症予防などの講座や講演会を実施する。  
 ・認知症講座・講演会講師謝礼、チラシ作成(報償金・印刷製本費)

-----  
 【他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費】

- 公園見直し事業 (1,905 千円)  
 地区内で早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、水飲み場の改修など、バリアフリー化を行う。  
 ・桜小路公園及び花立公園の水飲み場改修等(施設修繕費)  
 ※予算は、公園改修費(地域執行分)に計上



鶴沼元気塾・鶴沼交流ひろば事業  
 (地域の協力スタッフによる紙芝居)



鶴まつり事業  
 (地元フラダンスサークルによるステージ)

	【事業費(事務事業中の重点事業分)】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
市民センター分	1,431	1,431	1,431	1,431	5,724	拡充
他の事業費計上分	1,905	4,423	0	0	6,328	

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	4-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	2,591					2,591
平成28年度	3,591					3,591
対前年度	△ 1,000					△ 1,000

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、地域の特性を生かした各種事業を実施する。

1. 藤沢宿活性化事業 2,591 千円  
 藤沢宿の歴史的まちなみを、落書き等から防止するために実施されたトランスボックスラッピングの維持管理を行う。また、歴史的資源を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。  
 ・トランスボックスラッピング修繕等（施設修繕費・印刷製本費）  
 ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）  
 ・街頭フラッグ製作費（消耗品費）

-----  
 【他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費】

- 地域緑化運動事業 (4,500 千円)  
 地域の緑化推進及び緑地の整備を実施する。  
 ・樹木伐採等（手数料）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 地域の魅力発見事業 (941 千円)  
 伊勢山公園における桜の植樹など、地域の魅力あるスポットの整備を実施する。  
 ・桜植樹等（手数料）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 西富憩いの森検証事業 (3,300 千円)  
 西富憩いの森の充実を図るための検証・提言を踏まえて、散策路等の整備を実施する。  
 ・階段改修等（施設修繕費）  
 ※予算は、緑地改修事業費（地域執行分）に計上



西富憩いの森検証事業  
 （西富憩いの森散策路 改修前） （平成28年度 改修後）

	【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
公民館分	2,591	2,387	2,061	2,061	9,100	
他の事業費計上分	8,741	9,041	5,441	5,441	28,664	

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	4-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	2,709					2,709
平成28年度	3,277					3,277
対前年度	△ 568					△ 568

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. マナーアップ啓発事業 500 千円  
 自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方等のマナー向上を目指し、ポイ捨て等禁止看板の作製及びスタントマンを活用した交通安全教室を実施する。  
 ・看板及び横断幕の作製、スタントマンへの謝礼（消耗品費・報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 356 千円  
 運動の充実を図るため、懸垂幕等を掲出するとともに、キャンペーンを実施する。  
 ・啓発物品等の作製（消耗品費）
3. 地域防災力強化事業 119 千円  
 災害発生時に自治会・町内会、避難施設、地区防災拠点本部との通信手段として導入した通信機器の使用を継続するとともに、自治町内会連合会と連携し、地域防災力を強化する。  
 ・雨水貯留槽の設置、電波使用料（消耗品費・負担金）
4. 村岡美化活動事業 313 千円  
 美しく住みよい地域環境を築くため、公園愛護会結成済の公園で、花壇未設置箇所に花壇を設置する活動及び村岡地区の独自の一斉清掃を実施する。  
 ・花壇指導、ごみ袋購入、花壇作製及びごみ収集運搬（報償金・消耗品費・手数料）
5. 史跡案内板設置事業 1,221 千円  
 地域の歴史的資産の有効活用を図るため、地区内史跡案内板等の改修等を実施する。  
 ・案内板等の改修、ウォーキングマップの作成（施設修繕費・印刷製本費）
6. 高齢者見守り事業 200 千円  
 高齢者の社会的孤立を防止するため、高齢者の見守り事業を実施する。  
 ・村岡版高齢者のための安心べんり帳の作製（印刷製本費）

-----  
 【他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費】

- 公園環境整備防犯対策事業 (1,200 千円)  
 犯罪防止及び地域防災力の向上を図るため、停電時にも使用できるソーラー蓄電池型の照明灯を設置する。  
 ・ソーラーLED照明灯の設置（施設修繕費）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 歩道等通行環境整備事業 (1,948 千円)  
 すべての人が安全に安心して歩くことができるまちづくりのため、歩道等の段差などを改修し、歩行者等の道路環境を向上させる。  
 ・U字溝安全整備及び歩道の段差解消（施設修繕費）  
 ※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上

	【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
公民館分	2,709	2,539	2,809	2,539	10,596	
他の事業費計上分	3,148	3,900	3,900	3,900	14,848	

総務費

事業名	庁舎等整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 8 細目 06 説明 01			管財課		
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	14,743,138	82,147		10,307,000	3,550,923	803,068
平成28年度	3,532,046	22,742		2,635,800	873,504	0
対前年度	11,211,092	59,405		7,671,200	2,677,419	803,068
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				82,147
	(地方債)	新庁舎建設事業債				10,307,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				3,550,923

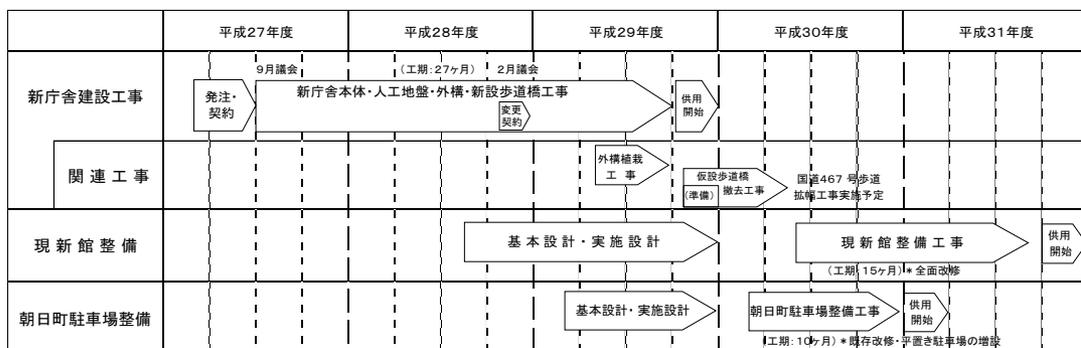
【事業概要】

3カ年度継続事業の最終年度となる新庁舎建設については、平成30年1月の供用開始に向けて建設工事及び工事監理を進めるとともに、外構の一部として、別途、植栽工事を実施する。

また、新庁舎におけるユニバーサルレイアウトの導入のため、事務机・デスクワゴン等の什器を新規に購入し、執務空間の有効活用を進めるほか、組織改正等に伴い発生していたインフラ整備等に要するランニングコストの抑制を図る。

現新館・朝日町駐車場については、平成27年度に策定した整備基本計画をもとに、基本・実施設計を実施し、新庁舎完成後の周辺整備を計画的に進める。

1. 新庁舎建設事業 14,627,729 千円
  - (1) 新庁舎建設工事（平成27～29年度の継続費） 13,629,517 千円
  - (2) 新庁舎建設工事監理委託（平成27～29年度の継続費） 111,327 千円
  - (3) 新庁舎敷地内植栽工事 70,017 千円
  - (4) 什器購入費用（消耗品・備品購入費） 798,435 千円
  - (5) その他経費（委託料、手数料、印刷製本費ほか） 18,433 千円
2. 現新館整備基本・実施設計委託（平成28・29年度の継続費） 100,947 千円
3. 朝日町駐車場整備基本・実施設計委託 14,462 千円
4. 仮設歩道橋撤去工事に伴う債務負担行為の設定 (12,993 千円)  
 周辺整備工事の進捗にあわせて、現在設置されている仮設歩道橋を撤去する。  
 工事期間：平成30年4月～6月予定



（この事業は平成28年度6月補正で実施した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
14,743,138	1,579,711	2,117,750	0	18,440,599	

労働費

事業名	労働会館整備費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,833,047	286,929		1,189,300	350,505	6,313
平成28年度	585,809	0		399,000	158,851	27,958
対前年度	1,247,238	286,929		790,300	191,654	△ 21,645
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				286,929
	(地方債)	労働会館等建設事業債				1,189,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				350,505

【事業概要】

藤沢公民館・労働会館等複合施設建設基本設計に基づき、新施設の実施設計業務及び建設業務を実施する。

- |   |              |
|---|--------------|
| 1. 藤沢公民館・労働会館等複合施設建設事業                          | 1,833,047 千円 |
| (1) 実施設計・施工監修（モニタリング）業務委託<br>平成28年度～平成30年度（継続費） | 20,974 千円    |
| (2) 建設工事<br>平成27年度～平成30年度（継続費）                  | 1,805,760 千円 |
| (3) 建設工事に係る損失補償                                 | 6,106 千円     |
| (4) 労働会館整備事務経費                                  | 207 千円       |

<継続費年割額>

実施設計・施工監修業務	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
	25,726	20,974	22,810	69,510

建設工事（実施設計・解体・施工一括発注）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
	0	225,720	1,805,760	2,482,920	4,514,400

<事業スケジュール（案）概略>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本構想						
基本設計等作成事業						
一括発注 実施設計 労働会館解体工事 新築（建設）工事						
						供用開始

<鳥瞰図>

実施設計（案）



（南側からの鳥瞰）



（北側からの鳥瞰）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
1,833,047	2,565,197	0	0	4,398,244	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01			市民自治推進課		
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	79,982			57,100	22,882	
平成28年度	0			0	0	
対前年度	79,982			57,100	22,882	
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				57,100
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				22,882

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも再整備を進める必要があるため、地区内公共施設との複合化による再整備を行う。

- 設計委託（継続費） 76,200 千円  
平成27年度に策定した基本構想を踏まえ、平成28年度・平成29年度の2カ年で基本設計、実施設計及び既存施設解体設計を行う。
- その他経費 3,782 千円
  - ・埋蔵文化財試掘調査委託 2,884 千円
  - ・電波障害事前調査委託 648 千円
  - ・構造計算適合判定手数料 250 千円
- 施設・機能  
市民センター・公民館、市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	合計
善行市民センター建設に伴う設計委託	13,440	76,200	89,640

<事業スケジュール概略>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
基本構想	基本・実施・解体設計		センター棟建設工事		旧センター解体工事	体育室棟建設工事

(この事業は平成28年度6月補正で実施した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
79,982	188,157	1,666,401	109,924	2,044,464	

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 06 説明 01			市民自治推進課		
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	561,312			394,800	166,512	
平成28年度	0			0	0	
対前年度	561,312			394,800	166,512	
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				394,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				166,512

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも再整備を進める必要があるため、元県有地、旧市道及び高浜中学校テニスコートを一体的に活用し、地区内公共施設との複合化による再整備を行う。

1. 設計委託（継続費） 96,390 千円  
平成27年度に策定した基本構想を踏まえ、平成28年度・平成29年度の2カ年で基本設計、実施設計及び既存建物解体設計を行う。
2. 解体工事 127,322 千円  
元県有地の既存建物解体工事を行う。
3. その他経費 337,600 千円
  - ・家屋事前調査委託 34,377 千円
  - ・用地買戻し 302,973 千円
  - ・構造計算適合判定手数料 250 千円
4. 施設・機能  
市民センター・公民館、市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、消防出張所・消防団、テニスコート

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	合計
辻堂市民センター建設に伴う設計委託	17,010	96,390	113,400

<事業スケジュール概略>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
基本構想	基本・実施・解体設計		建設工事		
		元県職員住宅解体工事			

(この事業は平成28年度6月補正で実施した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
561,312	356,495	2,495,469	747,368	4,160,644	

衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	34,455	11,393				23,062
平成28年度	14,481	4,698				9,783
対前年度	19,974	6,695				13,279
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				11,393

【事業概要】

廃棄物の円滑な処理を図るため、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設にあたり、発注に向けた要求水準書の作成等の支援業務、及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく生活環境影響調査をそれぞれ平成28年度に引き続き業務委託により実施する。

また、円滑な施設整備等に向けて、施設の建設及び建設後の運営・維持管理業務の実施事業者を公募型プロポーザル方式により平成29年度中に選定するため、それぞれの業務について債務負担行為を設定する。

1. 委託料 34,180 千円
- ・焼却施設整備・運営事業アドバイザー業務（平成29年度分） 21,252 千円
  - ・新2号炉建設に伴う生活環境影響調査（平成29年度分） 12,928 千円
- <継続費年割額> (単位：千円)

業務内容	28年度	29年度	合計
焼却施設整備・運営事業アドバイザー業務	11,980	21,252	33,232
新2号炉建設に伴う生活環境影響調査	29,760	12,928	42,688

2. その他事務経費 275 千円

(新) 3. 債務負担行為の設定

(1) 建設業務

- ・事業期間 平成30年度から平成34年度まで（5年間）
- ・設定額 16,524,000千円 (単位：千円)

年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
金額	486,000	729,000	421,200	8,424,000	6,463,800	16,524,000

(2) 運営・維持管理業務

- ・事業期間 平成35年度から平成54年度まで（20年間）
- ・設定額 11,561,768千円

《北部環境事業所新2号炉建設までの概略スケジュール》

業務名称\年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
アドバイザー業務	■■■■■							
生活環境影響調査	■■■■■							
実施設計			■■■■■					
建設業務			■■■■■ 旧2号炉解体		■■■■■ 建設工事			
							■■■■■ 試運転	■■■■■ 稼働開始

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
34,455	506,000	749,000	465,943	1,755,398	

事業名	(新) 鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	8,522					8,522
平成28年度	0					0
対前年度	8,522					8,522

### 【施策等を必要とする背景】

鵜南小学校は、昭和45年3月建築の校舎棟が大半を占めており、全体的に建物の老朽化が進行している状況である。設備面においても不具合が頻発しており、随時、修繕により対応しているところであり、また、文部科学省が定める学校施設に必要な面積及び近年の教育内容に見合った機能についても不足が生じている状況である。これらの施設状況について抜本的な対策を講じ、安全性の確保及び教育環境の機能向上を図る必要がある。

また、当該校は津波浸水予測エリアに位置しているため、津波避難対策として校舎棟の屋上にフェンスを設置済みであるが、津波災害時には児童、教職員及び近隣住民の避難施設としての役割を果たすためにも、教育環境の整備にあわせた防災機能の向上を図る必要がある。

さらに、近隣に位置する浜見保育園及び放課後児童クラブについて、建物の老朽化が進行しているとともに津波避難対策の強化が求められている状況にあるため、鵜南小学校の改築にあわせて複合化し一体整備することで、子どもたちの安全確保が図られることから早期事業実施が必要である。

### 【提案に至るまでの経緯】

- ・平成26年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を策定
  - ・平成27年度「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」を策定
- 津波避難対策を早急に図る必要性、建物の状態及び老朽化の度合い等を考慮し検討した結果、事業実施について最も高い優先度とした。

### 【市民参加の実施の有無とその内容】

有

事業の進捗に伴い、保護者、地域住民等への説明会を随時開催する。

### 【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画において優先度1に位置づけ
- ・藤沢市公共施設再整備プランにおいて第2期短期プラン実施事業に位置づけ

### 【将来にわたる効果及び費用】

#### 1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、安全性の確保及び近年多様化している教育形態に対応するため、機能面を充実させることで教育環境が向上するとともに、近隣住民を含めた津波避難施設としての十分な機能を持たせることで、防災機能強化が図られる。

また、津波発生時の避難が課題となっている浜見保育園及び放課後児童クラブと一体整備することで、これらの施設の津波避難対策の課題を解消できる。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
8,522	78,240	197,360	1,447,040	1,731,162	

## 2. 将来にわたる費用

平成29年度	基本構想	8,522 千円
平成30年度～平成31年度	基本・実施設計	195,600 千円
平成31年度	仮設校舎等解体	80,000 千円
平成32年度～平成33年度	建築工事	3,617,600 千円
平成33年度～平成34年度	既存校舎等解体	240,000 千円
平成33年度	初度調弁	20,000 千円
平成34年度	グラウンド外構工事	200,000 千円
	合 計	4,361,722 千円

### 【事業概要】

学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、鶴南小学校を全面改築する。あわせて、浜見保育園及び放課後児童クラブを複合化し一体整備することで、近隣住民を含めた津波避難施設としての機能向上を図る。

なお、改築に伴う基本・実施設計の業務委託に先立ち、諸条件の整理等を行う必要があることから、平成29年度は基本構想業務委託を実施する。

- ・基本構想業務委託 8,522 千円

#### <整備計画概要>

- ・校地面積 10,908㎡
- ・校舎棟
  - 鉄筋コンクリート造、地上4階建て
  - 想定延床面積 約6,500㎡
- ・屋内運動場
  - 鉄筋コンクリート造、地上2階建て
  - 想定延床面積 約2,700㎡
  - うち、複合化施設面積 約1,400㎡
- ・既存仮設校舎、校舎棟、屋内運動場等の解体
- ・グラウンド整備及び外構工事

事業名	(新) 六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	44,135			17,800		26,335
平成28年度	0			0		0
対前年度	44,135			17,800		26,335
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				17,800

**【施策等を必要とする背景】**

六会中学校の屋内運動場は、昭和42年3月建築であり、建物の老朽化が進行しているとともに、機能面においても生徒数に対して著しい面積の不足が生じていることから、学校行事等に支障をきたしている状況である。これらの施設状況について抜本的な対策を講じ、安全性の確保及び教育環境の機能向上を図る必要がある。

また、学校の屋内運動場は、教育活動はもとより、社会体育・地域コミュニティの活動の場、災害時の拠点として重要な役割を担っているため、防災機能面の充実を図る観点からも、早期事業実施が求められている。

**【提案に至るまでの経緯】**

- ・平成26年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を策定
  - ・平成27年度「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」を策定
- 建物の老朽化の度合い及び狭あいによる学校運営に支障をきたしている状況等を考慮し、また、毎年、PTAから改築要望が提出されている経過も含め検討した結果、事業実施について最も高い優先度とした。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

事業の進捗に伴い、保護者、地域住民等への説明会を随時開催する。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

- ・藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画において優先度1に位置づけ
- ・藤沢市公共施設再整備プランにおいて第2期短期プラン実施事業に位置づけ

**【将来にわたる効果及び費用】**

- 将来にわたる効果
 

屋内運動場の改築及び武道場を新たに整備することで、学校教育活動に必要な機能が確保され、教育環境の向上及び避難施設としての機能の充実が図られる。

また、開放用施設を整備することで、地域での活用における利便性の向上が図られる。
- 将来にわたる費用
 

平成29年度～平成30年度	基本・実施設計	67,900 千円
平成30年度～平成31年度	建築工事	812,000 千円
平成32年度	既存屋内運動場解体	40,000 千円
平成32年度	跡地整備	40,000 千円
合 計		959,900 千円

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
44,135	267,365	568,400	80,000	959,900	

**【事業概要】**

学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、六会中学校の屋内運動場を改築し、あわせて武道場を新設する。なお、屋内運動場には、地域での活用の利便性拡充のため、開放用施設を併設する。

平成29年度は、改築に伴う基本・実施設計業務委託を実施する。

なお、当該業務委託は2カ年の継続事業として実施する。

・基本・実施設計業務委託

44,135 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	年割	事業費
平成29年度	65%	44,135
平成30年度	35%	23,765
合計	100%	67,900

<整備計画概要>

- ・校地面積 27,689㎡
- ・屋内運動場（開放用施設を含む）
  - 鉄筋コンクリート造、地上1階建て
  - 想定延床面積 約1,500㎡
  - ※開放用施設（開放用玄関、会議室、倉庫、更衣室、トイレ等）
- ・武道場
  - 鉄筋コンクリート造、地上1階建て
  - 想定延床面積 約300㎡
- ・防災備蓄倉庫の併設
- ・既存屋内運動場の解体及び跡地整備

事業名	(新) 公共施設再整備関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 -	企画政策課				
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度						
平成28年度						
対前年度						

**債務負担行為の設定**

**【施策等を必要とする背景】**

藤が岡二丁目地区については、旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の3つの公共施設が隣接している。旧藤が岡職員住宅は、昭和38年に建設し、建築後50年以上を経過し老朽化が著しく、現在空き家になっていることから早期取壊しが求められている。旧市民病院看護師寮についても、平成25年度末をもって利用を終了している。

また、藤が岡保育園についても、昭和40年に建設され、老朽化が進んでいることから、他の2つの公共施設の解体にあわせて再整備を進める。

**【提案に至るまでの経緯】**

老朽化している施設を早期に解体し、藤が岡保育園、周辺に賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設とする方向で検討を進め、平成27年の再整備基本構想策定時に、余剰となる床面積を活用したPPP・PFIによる、民間活力の導入が可能か市場調査を行った。市の財政負担を検討する上で指標となるバリューフォーマナー(VFM)等を精査しPFI事業として再整備を実施する。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

- 平成27年度 基本構想策定に向けた意見交換会
  - 周辺自治会・町内会 11月23日、1月26日、30日
  - 藤が岡保育園保護者 4月30日、11月26日、2月24日
- 平成28年度 事業進捗状況の報告、今後の予定等
  - 周辺自治会・町内会 10月21日、22日
  - 藤が岡保育園保護者 10月25日

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市公共施設再整備プランの第1期短期プラン（平成26年度から平成28年度）では検討事業として位置づけ、第2期短期プラン（平成29年度から平成32年度）においては実施事業とする。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

民間事業者の資金、事業能力及び技術力などのノウハウ等を導入し、維持管理を含め、より効果的かつ効率的なサービスの提供が可能となるPFI事業として実施することにより財政支出の削減及び平準化が見込まれる。

また、民間事業者が保有し運営する民間収益施設を誘導することにより、入居予定の公共機能の補完、相乗効果による施設の魅力アップと世代間交流の機会の増加が見込まれる。

2. 将来にわたる費用

PFI事業として実施した場合のサービス対価（設計費、解体・撤去工事費、埋蔵文化財調査費、建設工事費、備品費、維持管理費、割賦手数料、開業準備費、融資組成手数料等）、モニタリング費用

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
0	5,500	5,500	5,500	16,500	

**【事業概要】**

旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の敷地を一体的に活用し、周辺地区で賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設としての再整備を行う。

その再整備に当たっては、PFI手法による民間活力を導入し、より効果的かつ効率的なサービスの提供を行い、財政支出の削減及び平準化を図る。

1. 藤が岡二丁目地区再整備事業に伴う債務負担行為の設定（4,647,179千円）

事業期間 平成29年4月～平成53年3月予定

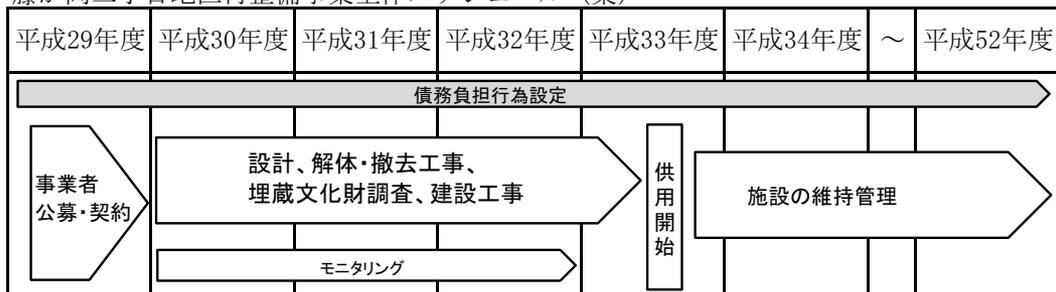
※平成29年度は、事業者との契約に向けた手続きのため債務負担行為の設定のみとする。

(単位：千円)

	金額
建設事業費	2,872,439
維持管理費	1,758,240
事業化事務費	16,500
合計	4,647,179

2. 事業スケジュール

藤が岡二丁目地区再整備事業全体スケジュール（案）



【事業箇所図】



総務費

事業名	公共資産活用関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 01	企画政策課				
指針体系コード	5-1-91	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	22,302					22,302
平成28年度	69,391					69,391
対前年度	△ 47,089					△ 47,089

【事業概要】

公有地等の有効活用の検討を行うとともに、公共施設の再整備と長寿命化施策を推進する。

1. 藤が岡二丁目地区再整備PFIアドバイザー業務委託 12,096 千円  
 藤沢市公共施設再整備プランの第2期短期プランに位置づけている「藤が岡二丁目地区の再整備」（旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園）について、PFI手法を導入した整備を行う上で、当該業務に関して専門知識や経験が必要となることから、専門業者に業務委託する。
2. 公共建築物台帳システム賃借料 6,527 千円
3. 公共資産活用関係事務経費 3,679 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
22,302	6,809	3,719	3,719	36,549	

土木費

事業名	都市マスタープラン等関係費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 04 説明 02	都市計画課				
指針体系コード	5-1-101	重点施策名	都市の機能と活力を高める			
		重点事業名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	542					542
平成28年度	447					447
対前年度	95					95
<p><b>【事業概要】</b>          都市マスタープランの改定等に向けた都市計画の調査及び検討を行う。</p>						

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
542	3,176	0	0	3,718	

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	5-1-111	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	666,956	51,864		425,800		189,292
平成28年度	379,148	60,500		54,000		264,648
対前年度	287,808	△ 8,636		371,800		△ 75,356
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				51,864
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				425,800

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化のため、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備検討を進めるとともに、藤沢駅北口デッキのリニューアル工事に着手する。

- |                             |            |
|-----------------------------|------------|
| 1. 委託料                      | 37,748 千円  |
| ・ 藤沢駅周辺地区再整備に伴う先行プロジェクト支援業務 |            |
| ・ 駅と一体的検討に向けた南口駅前広場基本計画作成業務 |            |
| 2. 工事請負費【継続費】               | 604,066 千円 |
| ・ 藤沢駅北口デッキ高質化工事             |            |
| 3. 補償補填および賠償金               | 20,000 千円  |
| ・ 藤沢駅北口デッキ整備事業に伴う支障物件移設補償   |            |
| 4. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費         | 5,142 千円   |

<継続費年割額>

(単位：千円)

藤沢駅北口デッキ高質化工事	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
	604,066	1,982,725	313,398	2,900,189



<藤沢駅北口デッキ完成イメージ>

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
666,956	3,678,060	3,491,787	8,000,000	15,836,803	

土木費

事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-1-121	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	51,319					51,319
平成28年度	18,095					18,095
対前年度	33,224					33,224

【事業概要】

都市拠点に位置付けられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸計画に伴う新駅設置が想定されており、その実現に向けたまちづくりを検討し、新たに創出する都市拠点にふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、平成28年度に策定した「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づく地区内の浸水対策を行う。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 健康と文化の森地区まちづくりの事業化に向けた検討<br>・まちづくり事業化検討業務委託                            | 13,470 千円  |
| 2. 健康と文化の森地区浸水対策<br>・調整池基本設計委託<br>・浸水対策に伴う試掘工事<br>・浸水対策工事<br>・浸水対策工事（その2） | 34,872 千円<br>15,920 千円<br>2,600 千円<br>7,442 千円<br>8,910 千円 |
| 3. 健康と文化の森整備事業事務経費  | 2,977 千円   |



健康と文化の森地区整備図

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
51,319	94,200	270,700	337,300	753,519	

土木費

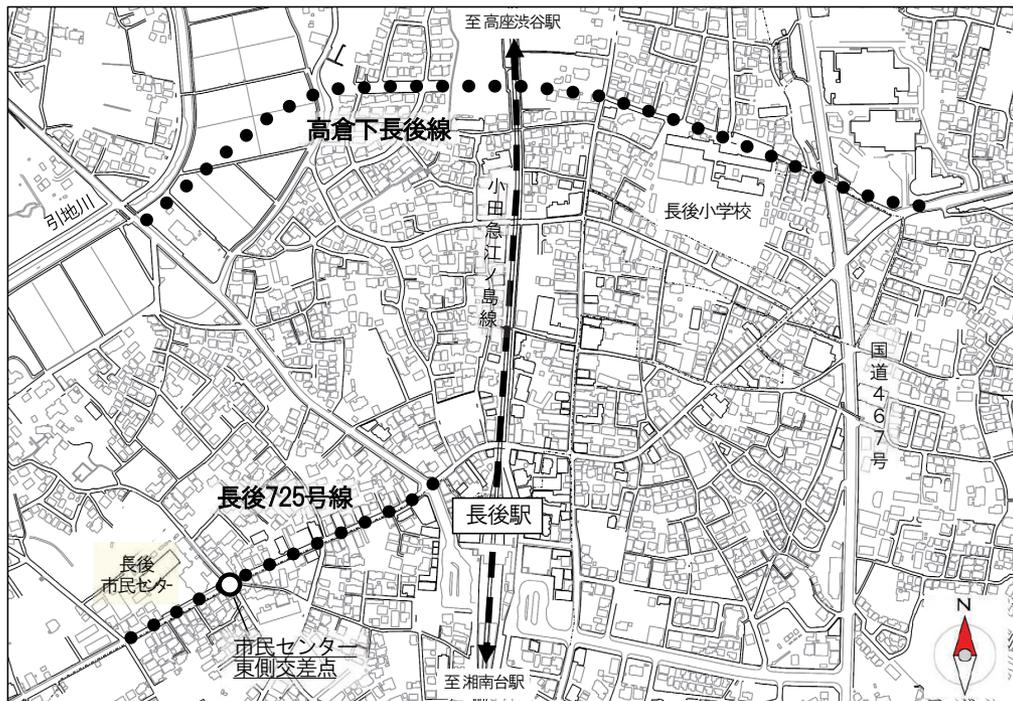
事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02			都市整備課長後地区整備事務所		
指針体系コード	5-1-131	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	75,556	1,485		3,500		70,571
平成28年度	6,919	0		0		6,919
対前年度	68,637	1,485		3,500		63,652
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,485
	(地方債)	道路整備事業債				3,500

【事業概要】

長後駅と長後市民センターを結ぶ長後725号線の歩行者等の安全性の向上を図るため、長後市民センター東側交差点改良工事等を行うとともに、次期整備箇所の用地測量及び支障物件調査等を行う。

また、高倉下長後線の都市計画変更に向けた地元調整及び関係機関協議を行う。

1. 長後市民センター東側交差点改良 67,623 千円
  - ・ 公有財産購入費（用地） 13,527 千円
  - ・ 補償補填及び賠償金（移転補償、電柱移設補償） 32,668 千円
  - ・ 工事請負費（交差点改良工事） 21,428 千円
  
2. 長後725号線歩道整備 5,465 千円  
 委託料（用地測量、支障物件調査）
  
3. 長後地区整備事業事務経費 2,468 千円



【事業位置図】

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
75,556	95,620	26,740	170,370	368,286	

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	5-1-141	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
	5-1-151	重点施策名	都市基盤の充実と長寿化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	1,400,952	569,160		677,600		154,192
平成28年度	411,262	107,265		249,500		54,497
対前年度	989,690	461,895		428,100		99,695
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				434,680
	(国庫支出金)	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金				134,480
	(地方債)	道路整備事業債				677,600

【事業概要】

誰もが生活しやすいまちづくりを進めるため、安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保に向け、市道の新設や拡幅改良、歩道の整備及びバリアフリー化などの道路整備を行う。

- 1. 歩道の新設事業 233,808 千円
  - (1) 六会554号線（道路改良工事）
  - (2) 宮原百石線（建物等調査、用地取得、補償）
- 2. 歩道の改良事業 122,836 千円
  - (1) 藤沢駅辻堂駅線（道路改良工事）
  - (2) 藤沢403号線（道路改良工事）
- 3. 指針重点事業 700,900 千円
  - (1) 藤沢652号線（歩道築造工事：継続費、測量、家屋等調査、概略・予備設計）
  - (2) 六会日大前駅周辺地区 六会349号線（バリアフリー化工事）
  - (3) 善行駅周辺地区 石名坂善行線（バリアフリー化工事）
- 4. 自転車走行空間整備事業 22,335 千円
  - (1) 六会駅東口通り線
  - (2) 高倉遠藤線
- 5. バスターミナル等改良事業 314,514 千円
  - (1) 湘南ライフタウンバスターミナル（広場拡張工事：継続費）
  - (2) 湘南台駅東口駅前広場（広場改良工事）
  - (3) 辻堂駅遠藤線（バスベイ改良工事）
- 6. 市道新設改良事業事務経費 6,559 千円

<継続費>

- (1) 藤沢652号線歩道築造工事 (単位：千円)

年割額	平成28年度	平成29年度	合計
	62,400	434,400	496,800

- (2) 湘南ライフタウンバスターミナル広場拡張工事 (単位：千円)

年割額	平成29年度	平成30年度	合計
	218,938	27,692	246,630

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

藤沢652号線 バリアフリー事業	【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
	456,387	101,902	365,342	156,049	1,079,680	
	244,513	92,500	95,780	148,940	581,733	

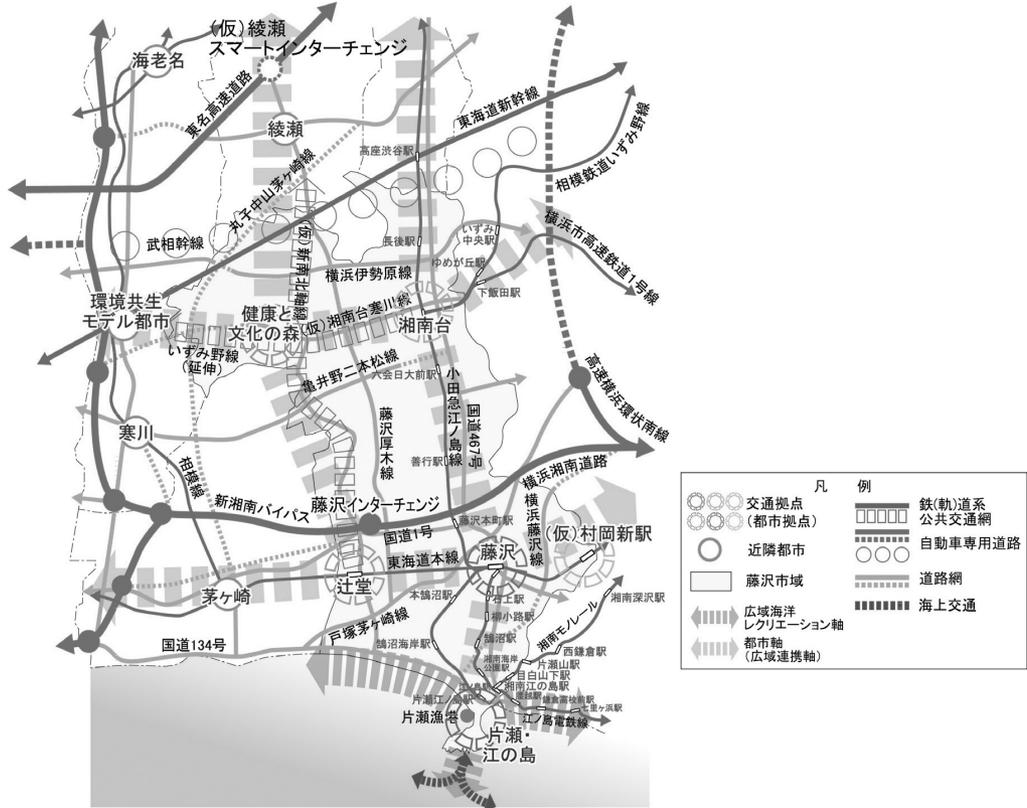
土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	49,990		8,333			41,657
平成28年度	8,230		0			8,230
対前年度	41,760		8,333			33,427
特定財源の内訳	(県支出金)	民営鉄道駅舎垂直移動施設整備事業補助金				8,333

【事業概要】

都市環境の向上と市民生活の利便性向上を図るため、超高齢社会を支える地域に根ざした公共交通網の整備を進めるなど、総合交通体系の構築を目指す。

- 負担金補助及び交付金 28,071 千円
  - ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費 180 千円
  - ・ ノンステップバス導入補助 8,400 千円
  - ・ 善行地区地域交通車両導入等補助 2,825 千円
  - ・ 湘南モノレール湘南江の島駅エレベーター設置費補助 16,666 千円
- 委託料 18,656 千円
  - ・ 藤沢市地域公共交通検討他業務委託 8,450 千円
  - ・ いずみ野線延伸地域における交通及び土地利用に関する検討業務委託 10,206 千円
- 総合交通体系推進業務事務経費 3,263 千円



活力を生み出す都市・ネットワークづくり方針図（藤沢市交通マスタープラン）  
 （この事業は平成28年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
49,990	91,238	81,798	66,798	289,824	

土木費

事業名	健康の森保全再生整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	36,090				22,183	13,907
平成28年度	32,728				19,083	13,645
対前年度	3,362				3,100	262
特定財源の内訳	(その他)	みどり基金繰入金				22,183

【事業概要】

市内三大谷戸の1つである健康の森（遠藤笹窪緑地）の保全を図るため、平成28年度に策定した「遠藤笹窪緑地保全計画」に基づき緑地の保全再生を行う。

また、特別緑地保全地区の指定に向けた現況測量を実施するとともに、現在建設中の病院に出入りする緊急車両が台風や大雨時の道路冠水により通行不可となるため、緊急用の進入路を整備する。

1. 健康の森の里山保全再生に向けた取り組み 32,781 千円
  - ・健康の森オオタカ調査等業務委託 3,176 千円
  - ・健康の森管理用地草刈委託 2,592 千円
  - ・市民活動団体等からの提案活動交付金 2,500 千円
  - ・施設修繕費、建設事業関係手数料 2,329 千円
  - ・遠藤笹窪緑地現況測量委託 22,184 千円

健康の森の豊かな自然環境を恒久的に保全するため、特別緑地保全地区の指定を目指すにあたり、必要となる基礎資料を得るために実施する。
  
2. 病院北側進入路の整備 2,500 千円  
 道路冠水により通行止となった際に、緊急車両の進入路確保のための整備を行う。
  
3. 健康の森保全再生整備事業事務経費 809 千円



健康の森計画図

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
36,090	10,431	20,431	210,431	277,383	

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 06	みどり保全課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	9,351				9,351	
平成28年度	7,257				7,257	
対前年度	2,094				2,094	
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				9,351

【事業概要】

本市の貴重な自然環境を次世代に継承するとともに市民を対象に自然保護意識の高揚、普及啓発を図るため、多様な生物の生育・生息環境の保全・再生・創出を推進するビオトープネットワーク事業等を行う。

また、平成28年度に検討を開始している新規施策である（仮称）生物多様性藤沢戦略の策定を行う。

1. ビオトープネットワーク関連事業 3,013 千円
  - ・既設ビオトープの維持管理作業手数料 2,920 千円  
既設ビオトープの定期的な維持管理作業を実施する。
  - ・ビオトープ維持補修原材料費 93 千円  
協働で活動するNPO等が、維持管理等に使用する資材の購入費
2. 自然環境実態調査関連事業 281 千円
  - ・自然環境実態調査（継続調査） 181 千円  
自然環境実態調査継続調査のための消耗品費及び保険料
  - ・調査エリアのカルテ印刷製本費 100 千円  
自然環境実態調査における48調査エリアを対象に、保全施策に活用するためのカルテの充実を図る。
3. 生物多様性地域戦略策定業務委託 6,057 千円  
市域における生物多様性の保全及び豊かで健全な環境を次世代へつなげるため、（仮称）生物多様性藤沢戦略を策定する。



長後第1公園内のビオトープ



大庭裏門公園内のビオトープ管理の様子

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
9,351	10,800	9,400	3,600	33,151	

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	39,127				32,475	6,652
平成28年度	9,901				0	9,901
対前年度	29,226				32,475	△ 3,249
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				32,475

【事業概要】

地球温暖化に対応するため、市民、事業者、行政が一体となって、住宅用等太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 環境に優しいエネルギーシステム普及推進 25,300 千円  
再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を推進するため、太陽光発電システム又はエネファームの設置者に費用の一部を補助し、両システムを同時に設置する場合は補助額を増額する。  
  - ・住宅用太陽光発電 1kWあたり15千円で上限額50千円
  - ・エネファーム 1件あたり50千円
  - ・両システム同時設置 1件あたり上限額150千円
  - ・共同住宅、自治会館、町内会館用太陽光発電 1kWあたり100千円で上限額300千円
2. 雨水貯留槽普及推進 675 千円  
水資源の循環利用を推進するため、雨水貯留槽の購入者に費用の一部を補助する。  
  - ・雨水貯留槽購入者への補助金 1件あたり本体価格の1/2で上限額15千円
3. 電気自動車普及推進 4,000 千円  
電気自動車の普及推進に向け、電気自動車の導入者に費用の一部を補助する。  
  - ・電気自動車導入者への補助金 1台あたり100千円
4. 定置用リチウムイオン蓄電池普及推進 1,500 千円  
エネルギーの効率的な利用を推進するため、蓄電池の設置者に費用の一部を補助する。  
  - ・蓄電池設置者への補助金 1件あたり50千円
5. 燃料電池自動車普及推進 1,000 千円  
燃料電池自動車の普及推進に向け、燃料電池自動車の導入者に費用の一部を補助する。  
  - ・燃料電池自動車導入者への補助金 1台あたり500千円
6. 地球温暖化対策関係団体等との連携 85 千円  
地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。
7. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進 40 千円  
茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を区域的に推進する。
8. 地球温暖化対策関係事務経費 6,527 千円  
非常勤職員報酬、臨時職員賃金ほか

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
0	0	0	0	0	

事業名	(新)住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅課 (新課名：住宅政策課)		
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	6,177	2,697				3,480
平成28年度	0	0				0
対前年度	6,177	2,697				3,480
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,697

**【施策等を必要とする背景】**

平成28年3月に国の住生活基本計画が改定され、平成28年5月に神奈川県住生活基本計画も一部改定されたことを踏まえ、少子化・超高齢化・人口減少・空き家対策・マンションの老朽化など今後の様々な課題に対応することで、「みんなが住み続けたいまち」を実現するための住宅施策を推進することが求められている。

**【提案に至るまでの経緯】**

住宅関連事業を、より効果的に推進するため、包括的に計画・事業策定を行う組織体制を構築し、住宅政策の基本計画の策定を踏まえた全市的な事業推進の必要があった。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

今後、藤沢市住宅マスタープランの策定に伴い、本市の都市計画に関する基本的な方針である「藤沢市都市マスタープラン」や本市空き家対策に関する基本的な考え方や対策を示す「藤沢市空き家対策基本方針」及び「藤沢市空き家の適正管理に関するガイドライン」、並びに市営住宅の長寿命化のための維持管理計画である「藤沢市市営住宅等長寿命化計画」との整合を図り、事業を推進していく。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業については、本市の住環境に関する基本的なデータや取り組み並びに課題を整理することで、全市的な住宅政策を推進するための基本となる計画が策定され、「みんなが住み続けたいまち」への取り組みに関して促進が図られる。

2. 将来にわたる費用

住宅関連事業の実施状況を調査・検証し、住宅政策を推進していくうえで必要に応じた経費を計上する。

**【事業概要】**

本市の住環境の現状と課題を把握するとともに、これまでの住宅施策に係る取り組みや課題を整理し、少子化・超高齢化問題に関わる地域包括ケアシステムとの連携や団地再生関連業務、空き家対策業務などを含めた全市的な住宅政策を推進するための基本となる藤沢市住宅マスタープラン(素案)の策定を行う。

- 1. 藤沢市住宅マスタープラン素案策定委託 5,994千円
- 2. 住宅政策推進事業事務経費 183千円

<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規
6,177	10,000	0	0	16,177	

土木費

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02			住宅課 (新課名：住宅政策課)		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	12,354					12,354
平成28年度	7,812					7,812
対前年度	4,542					4,542
<p>&lt;拡充事業&gt; 空き家の利活用支援に係る補助事業</p> <p><b>【施策等を必要とする背景】</b>            近年、居住その他の使用がなされていないことが常態である空き家が増加している。空き家の存在は、防犯、防災、衛生、環境面の悪化などにより、近隣住民や第三者に不安を与えるだけでなく、不利益や損害を与えるほか、新規移住者の阻害など土地利用の非効率化、市税収入の減少等も生じることになる。また、空き家が増加することは、地域の活力や魅力の低下が懸念される。            このため、空き家の適正管理を促進し、管理不全な空き家の発生を抑制するとともに、空き家を地域資源ととらえ、利活用に関する取組を推進していく必要がある。</p> <p><b>【提案に至るまでの経緯】</b>            平成26年11月 空家等対策の推進に関する特別措置法の公布            平成27年 5月 空家等対策の推進に関する特別措置法の完全施行            平成27年10月 「藤沢市空き家の適正管理に関するガイドライン」の施行            平成28年 4月 「藤沢市空き家対策基本方針」の施行            平成28年 5月 空き家対策連絡調整会議の設置            平成28年 5月 不動産団体2団体と藤沢市空き家対策に関する協定を締結</p> <p><b>【市民参加の実施の有無とその内容】</b> 無</p> <p><b>【市の策定する計画や条例との整合性】</b>            空き家の適正管理に関する対策として、「藤沢市空き家の適正管理に関するガイドライン」を平成27年10月に施行、これを包含し、空き家の利活用策も含めた本市の空き家対策として「藤沢市空き家対策基本方針」を平成28年3月に策定し、これに基づき空き家対策を推進する。</p> <p><b>【将来にわたる効果及び費用】</b>            1. 将来にわたる効果            本事業実施により、空き家の有効活用を推進し、空き家を住宅地の価値を高めるポジティブな資源に転換することで、地域交流の活性化、地域コミュニティの再生など、地域の課題解決や地域に新たな価値が創造される。</p> <p>2. 将来にわたる費用            空き家の利活用支援に係る補助金の拡充、空き家所有者と利活用希望者の情報集約に係る事業経費など</p>						
<b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b>						新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充	
12,354	18,834	13,154	13,154	57,496		

## 【事業概要】

地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす管理不全な空き家の発生を抑制するため、空き家の実態を把握し、空き家の適正管理の促進及び利活用の推進、広報活動などの空き家対策を実施する。

1. 空き家の適正管理の促進 4,038千円  
広報やホームページ等を活用し、空き家適正管理に関する意識啓発を行う。また、空き家の実態把握に努め、その情報をデータベース化するとともに、空き家所有者に対し、適正管理のための助言・指導を行う。また、空き家等と認められる場所に立ち入って建物損壊状況や、衛生上有害な状況などの確認を行い、実態に沿った指導に努める。
  - ・ 空き家実態調査業務委託 3,854千円
  - ・ 空き家所有者の訪問等調査に係る経費 94千円
  - ・ 研修会参加負担金 90千円
  
2. 特定空き家の認定と措置 842千円  
放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空き家を特定空き家として認定し、空き家対策法や国のガイドライン等に基づき、所有者等に対し行政指導を行い是正を促す。改善されない場合は勧告・命令等の法的措置を講ずる。
  - ・ 特定空き家審査会委員報酬 570千円
  - ・ 審査会に係る事務経費 272千円
  
3. 空き家の利活用の推進 4,934千円  
空き家所有者等の利活用に関する意向を把握するとともに、広報活動、セミナーの開催等により利活用に関する広報・啓発を行い、本市の実態に即したマッチング制度を推進する。その実効性を高めるため、新たな補助制度等を導入する。
  - (拡) ・ 空き家所有者と利活用希望者の情報を集約するホームページ作成に係る経費 808千円
  - (拡) ・ 利活用支援初期整備補助金 (1,000千円×3件) 3,000千円
  - (拡) ・ 利活用支援初期整備補助金に係る選考委員会の設置 422千円
  - ・ 広報活動、セミナー開催等に係る経費 704千円
  
4. 推進体制の整備 2,540千円  
空き家の適正管理と利活用という両面からの取り組みを進めるため、平成28年度に配置した空き家対策専門員を継続して配置する。その他推進に必要な事務経費
  - ・ 空き家対策専門員報酬 2,364千円
  - ・ 空き家対策関係事業事務経費 176千円

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	39,669					39,669
平成28年度	40,001					40,001
対前年度	△ 332					△ 332

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 22,759 千円  
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。  
 ・湘南ビジネスコンテスト事業  
 ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）  
 ・創業・新事業進出フォーラム事業  
 ・海外事業展開等支援事業  
 ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など
2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,082 千円  
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。
3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 6,365 千円  
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/㎡）
4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 663 千円  
 コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性やシニア世代の事業者の賃借料は45%以内）
5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円  
 市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）
6. 新世代インテリジェントシティコンソーシアム負担金 50 千円  
 ICT技術を活用して地域課題の解決を目指す同コンソーシアムに対する負担金。



(創業・新事業進出フォーラム)



(湘南ビジネスコンテスト)

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
39,669	40,522	40,690	40,853	161,734	

商工費

事業名	ロボット産業推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 07 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	25,127		1,002			24,125
平成28年度	23,674		0			23,674
対前年度	1,453		1,002			451
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,002

【事業概要】

ロボット産業の振興を通して地域経済の活性化を図るとともに、今後の超高齢社会の進展や人口減少に伴い発生する社会的課題に対応するためのロボット活用を促進するため、本市のロボット産業推進プロジェクト（ロボキュン藤沢プロジェクト）の中心的な取組の一つとして、生活支援ロボットの普及啓発等を行うとともに、市内企業のロボット産業への参入を支援する。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 21,500 千円  
「さがみロボット産業特区」の関連施設（介護ロボット等普及拡大拠点）として市内に整備されたロボット展示場（湘南ロボケアセンターロボテラス）を活用し、生活支援ロボットの普及啓発等の事業を行う。
- ロボット産業に対する参入支援・人材育成 1,513 千円  
地域経済団体等と連携し、市民等を対象に先端的なロボットに関する基調講演などを行う「ふじさわロボットフォーラム」、市内企業等を対象にロボット産業に関する理解を深めることを目的とした「藤沢ロボット産業研究会」、子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- ロボット産業推進事業補助金 2,114 千円  
市内中小企業のロボット産業への参入、及びロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し助成を行う。

対象者	市内中小企業者
補助対象経費	ロボットの試作開発等に要する経費 (原材料費用、機械装置・工具器具費用、技術指導費用など)
補助額	補助対象経費の全額、上限100万円



(ロボットに関するセミナーの様子)



(少年少女ロボットセミナー)

(この事業は平成28年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
25,127	25,127	25,127	25,127	100,508	

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	17,415					17,415
平成28年度	17,505					17,505
対前年度	△ 90					△ 90

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、指導事業及び商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援や、ふじさわ元気バザール事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,695 千円  
 商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家派遣により事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、後継者育成や販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。
2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円  
 地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の産業振興を目指すモデル事業である「ふじさわ元気バザール事業」に対し事業費の一部を助成する。



(ふじさわ元気バザール事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	
17,415	17,415	17,415	17,415	69,660	

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成29年度	24,240		22,900			1,340
平成28年度	18,591		17,250			1,341
対前年度	5,649		5,650			△ 1
特定財源の内訳	(県支出金)	新規就農者確保支援事業補助金				22,500
	(県支出金)	農業経営法人化等支援事業補助金				400

<新規事業> 担い手経営発展支援事業及び農業後継者研修受入支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

農家の高齢化や農業後継者の減少に伴い農業の担い手が減少している。担い手の減少は食料自給率の低下や、農地の荒廃化が進み、近隣住民等へ病害虫の発生等の悪影響を及ぼす可能性があるため、本事業により市内農家の経営の安定化及び新たな担い手の確保を図る。

【提案に至るまでの経緯】

担い手経営発展支援事業は、市内の複数の農家による法人化を支援する補助事業である。農家の高齢化により耕作者が減少した地域の複数の農家から、法人化をし経営の安定化を図りたい旨の申し出があったため、国の農業経営法人化等支援事業を活用し、支援を行う。

農業後継者研修受入支援事業は、農家の中でも特に優れた農業経営を行っている農業経営士が実施する研修に農業の担い手が参加することで、就農後の経営安定を図ることができるため、藤沢市農業経営士協議会に対し研修受入に対する補助金を交付し、研修機会の安定確保を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市地産地消推進計画において「本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策」として位置付けられている。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】					新規等の区分
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	拡充
24,240	28,740	30,990	30,990	114,960	

## 【将来にわたる効果及び費用】

### 1. 将来にわたる効果

本事業の実施により市内の農業の担い手の確保と就農後の経営安定が図られ、本市の農業振興及び活性化に繋がる。

### 2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成30年度	28,740千円
平成31年度	30,990千円
平成32年度	30,990千円

## 【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 市内若手農業者に対する講習会、研修会支援 15 千円  
対象者：さがみ農協藤沢市青少年藤友会  
支援内容：パソコン簿記講習会や優良事例視察研修会等講師謝礼
2. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 719 千円
  - ・景観形成事業 689千円  
委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会  
委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。
  - ・農業体験講座の開催 30千円  
対象者：農業に興味のある学生  
内容：農業に関する体験講座を行う。
3. 援農ボランティア養成講座の開催 123 千円  
期間：4～11月(全20回)  
場所：市内農場4カ所  
対象者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度
4. 新規就農者に対する支援 22,545 千円
  - ・青年就農給付金の交付 22,500千円  
「藤沢市人・農地プラン」において、中心となる経営体に位置づけられた新規就農者に対して、国が実施する新規就農・経営継承総合支援事業に基づき補助金を交付する。  
対象者：平成20年4月以降に参入した45歳以下の独立自営就農者  
支援内容：年間最大150万円の交付金の支給
  - ・新規就農指導員謝礼 45千円
- (新) 5. 担い手経営発展支援事業 400 千円  
市内の複数の農家が法人化する際に要する法人登記に係る費用等について、国の農業経営法人化等支援事業を活用し、補助金を交付する。  
対象者：市内の複数の農家により設立された法人  
支援内容：定額40万円
- (新) 6. 農業後継者研修受入支援事業 390 千円  
新規就農希望者の研修を受け入れている藤沢市農業経営士協議会に対し、その技術と農業経営を今後の農業の担い手が学ぶことで円滑な就農を果たせるよう研修受入に対する補助金を交付する。  
対象者：藤沢市農業経営士協議会  
支援内容：研修生を受け入れた農業経営士に対し3万円の補助金を交付
7. 担い手育成支援事業事務経費 48 千円  
旅費、消耗品費

## 5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵠沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



## 六会地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 素的なふるさと 六会

### まちづくり事業

#### 1 公園提案事業

地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の現状等それぞれ特徴がありますが、子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊べる公園等について、地域の要望（自治会・町内会，公園愛護会連絡協議会等）も踏まえ多方面から検討し，地域の特性を生かして全世代が利用しやすい公園を提案します。

- (1) 地区内の公園に関するニーズ調査の検討
- (2) 実効性のある公園改善提案の検討

#### 2 六会人材センター推進事業

地域の人材発掘を行うとともに，地域のまちづくり活動の推進を図るため，依頼先とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 六会人材センターの設置
- (2) 地域の人材発掘

#### 3 六会まちの相談室事業

幅広い層を対象にライフプラン（「暮らしとお金と安心」※）に関する①相談事業②セミナー事業を行います。

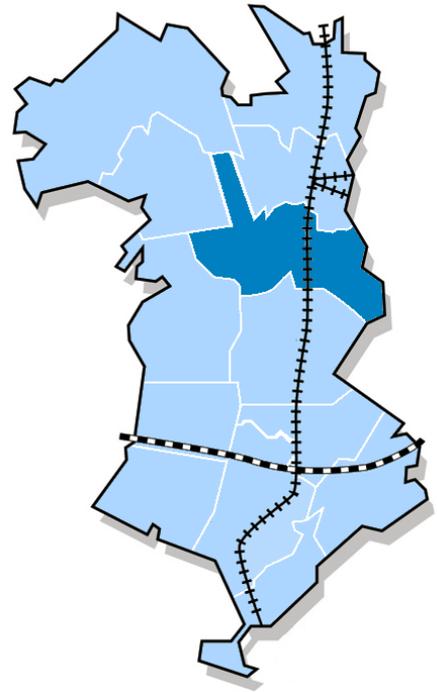
※内容は生涯設計，財産管理，税金，年金保険，医療（費），介護，相続贈与，事業継承など

- (1) 相談受付事業の推進，相談員の拡充
- (2) セミナー事業の推進，講師の拡充

#### 4 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川両岸の美化を維持しつつ，市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」のフォローをします。

- (1) 引地川両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 美化活動をするボランティア団体の設立と支援
- (3) 引地川の環境改善提言のフォロー



## 5 六会の伝統文化と歴史調査事業

六会地区の歴史再発見と地元愛を育むため、六会地区に伝わる民話、伝統芸能、伝統ものづくりを調査し、冊子にまとめて伝承します。

また、六会地区の歴史を調査して、六会地区歴史年表を作成します。

- (1) 地区に伝承する民話、芸能、ものづくりの調査
- (2) 地区の歴史調査
- (3) 調査結果のまとめとしての冊子、年表の刊行

## 6 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園、小・中学校、特別支援学校、花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また、近隣の人々が共同作業をすることで、地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配布による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) 六会グリーンクラブの支援

## 7 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため、12月から1月にかけて六会日大前駅東口ロータリーにイルミネーションを設置します。さらに、地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し、六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討

## 8 バリアフリー化支援活動事業

市のバリアフリー化計画(六会日大前駅周辺道路)にあわせ、高齢者、障がい者も安心して通行できる、道路環境を市との連携により具現化します。

- (1) バリアフリー化工事の進捗状況の見守り
- (2) 地域ニーズの把握と市への提案…六会349号線の早期着工

## 9 踏み切り安全対策事業

六会日大前駅南側踏み切りの問題は、地区の長年の課題です。踏み切りの安全対策について工事が完了しましたが、その後の利用状況、安全性について検証を行います。

- (1) 線路東側に隣接する張出歩道利用状況の実態調査
- (2) 張出歩道廃止に向けた住民意見の聴取

## 10 交通不便地区解消検討事業

六会地区には西俣野北部地区などバスなどの公共交通機関がなく、駅に出るのに徒歩等での移動手段しか無い交通不便地区があり、地域での移動の課題となっています。

地域の誰もが最寄り駅、病院等に容易に出掛けられるよう、予約型乗合タクシーの本格運行に向けて推進していきます。

- (1) 予約型乗合タクシー実証運行の実施（2016年（平成28年）11月21日（月）～）  
平成29年度は、実証運行の乗車人数を上げる活動と住民を主体とした運営組織の設置を図ります。
- (2) 予約型乗合タクシー本格運行の準備の促進  
平成30年度は、本格運行の実施を目指します。

#### 11 地域の縁側事業等「地域ふれあい事業」の設立支援事業

地域の縁側事業に限らず、広く地域の高齢者等のふれあい（心の交流）に係る事業の設立支援に努めます。

- (1) 地域ふれあい事業設立の他団体（事業者）への支援・協力・働きかけ

#### 12 「多世代学び場」づくり支援事業

公や民間の施設（場所）を活用して、高齢者に限らず、またテーマも福祉に限定せずに幅広く日常生活に役立つ事を気楽に学べる「場」の設立支援に努めます。

- (1) 場所や実施主体（団体、有志、講師）の確保

---

#### 長期的に取り組む地域課題等

六会のまち全体としての魅力（誘因力）を創る「六会まちづくりプランの検討」を将来的な課題としています。

また、藤沢型地域包括ケアシステムの理解を深め、取組を推進していきます。

## 片瀬地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

# 歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

### まちづくり事業

#### 1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネーター
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）

#### 2 地域広報事業

多くの人々が交流し、地域の魅力にあふれるまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

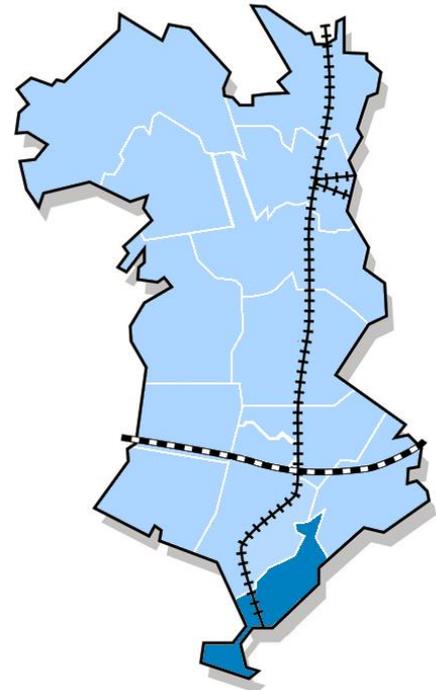
#### 3 まちかどミニベンチ設置事業

ふれあいのあるやさしいまちづくりを目指し、ニーズを把握してまちかどの小さなスペースを活用したミニベンチの設置を進めていきます。

- (1) ミニベンチ設置場所の調査・検討・土地所有者等調整
- (2) ミニベンチの設置

#### 4 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場にもなる片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに環境の浄化



を図るため、地域ボランティアを募り、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。

## 5 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを広げ、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

## 6 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

## 7 公民館活用事業

公民館事業の活性化及び公民館の有効活用の推進を図るため、地域の皆さんの意見や要望を公民館評議員会と協力して公民館運営に反映させ、さらに公民館と地域活動の連携を促進させ、課題の把握と解決の検討を実施します。

- (1) 公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的で効果的にするための調整
- (2) 各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約とその表示の検討
- (3) 公民館施設のメンテナンス必要箇所の抽出とその改修の提言

## 8 青少年居場所事業

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、片瀬しおさいセンターでの青少年の居場所づくり・対話・見守りを実施します。

- (1) 公民館を利用した青少年の居場所の確保
- (2) 青少年を見守るボランティアの配置

## 9 小学生夏休みふれあい事業

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、夏休み中に公民館へ集う小学生への宿題・勉強支援と見守り活動を実施します。

- (1) 指導者等事業運営体制の整備
- (2) 小学生を対象とした勉強会等事業の実施

## 10 青少年ボランティア活動支援事業

地域の青少年の成長を応援するため、ボランティア活動への参加を支援します。

- (1) 地域で実施されるイベント等事業の主催者等との調整、活動の場の確保
- (2) 青少年へのボランティア活動の情報提供

## 11 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動の支援を実施します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の開催
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施

## 12 江の島道の整備事業

旧江の島道を歴史探訪の道としての整備を実施するとともに、生活道路としての安全性の向上を目指します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備

---

## 長期的に取り組む地域課題等

片瀬・江の島地域には、市内で最も少子化が進み高齢化も進んでいることでの課題、歴史ある旧道や昔からの狭あい道路が現在も生活道路や通学路として使われていることでの課題、また、全国有数の観光地として多くの観光客が訪れる地であるとともに、住民の生活地として両立するための安全・安心や環境面での問題点など、地域の特色ゆえに浮彫になってくる日常生活での課題が数多くあります。これらのうち、ひとつの地域団体による活動では対応が困難な地域課題について、片瀬地区郷土づくり推進会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）が検討し、まちづくり事業として事業化したものも多くあります。

一方では、市、県、関係機関や団体等の動向を見据えていく必要がある地域課題、並びに、片瀬山市民の家再整備を踏まえた公的資産の有効活用、地域の居場所のあり方、廃屋への対応、より身近な高齢者相談窓口、生活支援ボランティアの推進、ひとり暮らし高齢者・障がい児者の見守りや移動手手段の課題、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場となる地元地域として、地域の魅力や特色を来訪者や転入者も含めた次世代へ継承するなど、長期的に取り組んでいく必要のある地域課題があることも、片瀬地区郷土づくり推進会議として認識をしています。

なお、今後も地区集会等の機会を捉えて、引き続き地域課題を集約していき、片瀬地区郷土づくり推進会議が中心となって、地域としての取組を検討していきたいと考えております。

## 明治地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

### まちづくり事業

#### 1 歴史・文化継承事業

明治地区には、「耕余塾」、「旧三觜八郎右衛門家住宅」などの歴史・文化資産が数多くあります。それらを活用して明治地区の歴史文化を広く周知し、次世代へ伝えていくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) めいじふるさとかるたの活用
- (4) 小笠原東陽ものがたりの制作と活用

#### 2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、(仮称)明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

#### 3 子育て支援充実事業

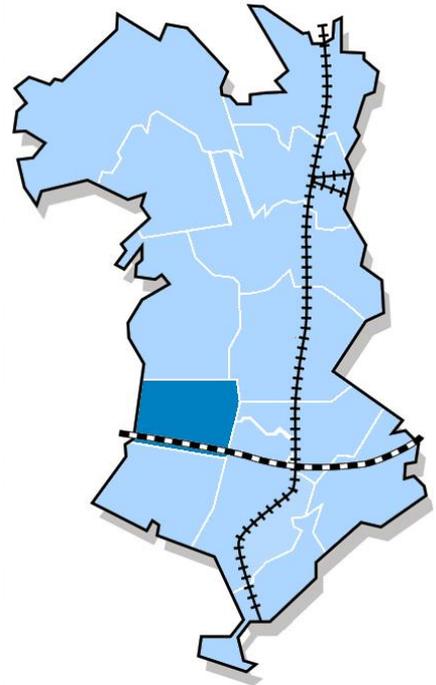
開発や区画整理に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うとともに、地域の子育て環境の充実を図るため、子育てグループや子育て支援団体が連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進

#### 4 避難行動要支援者支援体制推進事業

自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会等との協力体制を強化するとともに、地区民生委員との連携等を図ります。

- (1) 避難行動要支援者支援体制の構築



(2) 自治会・町内会，自主防災会と民生委員等との連携

#### 5 小・中学生地域活動参加促進事業

地域の自然，景観，歴史，文化を継承し，地域アイデンティティを受け継ぐ，地域における将来の担い手を育成するため，小・中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 各事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

#### 6 大学生と小・中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため，小・中学生を対象に，大学生ボランティア等と地域団体の協働による講座，事業等を開催するなど，世代を超えた交流と学習機会を創出します。

#### 7 道路バリアフリー化促進事業

だれもが安全に道路を利用できるよう，地区内の主要な道路のバリアフリー化について検討し，必要に応じて担当部署に要望していきます。

#### 8 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し，健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指し，健康体操の普及を図ります。

- (1) 自治会・町内会及び老人会等に，体操への参加を促すための案内。
- (2) 地区内で実施されている健康体操の案内。
- (3) 健康体操を広めるため健康体操サポーターの拡充並びに育成。
- (4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに必要な支援の実施。

#### 9 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため，不審者情報をパトロール団体等が共有し，効果的に巡回を行う等対応する仕組みを構築します。

- (1) 不審者情報を共有するネットワークの構築並びに効果的な巡回の調整。
- (2) 子どもへの声かけ等，抑止効果を高める活動の実施。

---

### 長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出や圏央道の開通による通過交通の増加等により，地区内で，土，日，祝祭日を中心に慢性的な交通渋滞が発生している現状があります。

## 御所見地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

### まちづくり事業

#### 1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

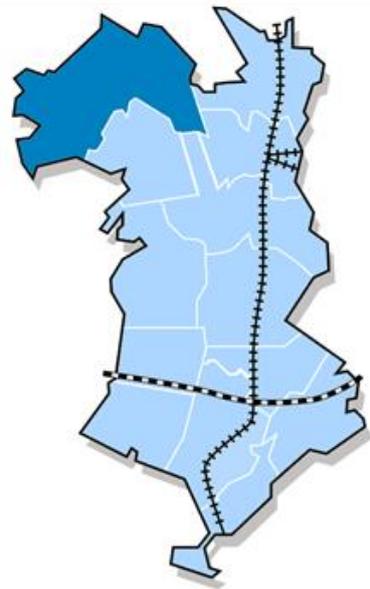
さらに、花桃祭り、れんげの里まつり、彼岸花まつり、ざる菊鑑賞ツアーなど地域団体が実施している事業の展開と合わせ、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出

#### 2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供



---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが、青少年健全育成施設であることから、その活用においては管理主体との調整が必要となります。

従来の青少年健全育成施設の機能に加えて、外部からの誘客施設、中高年者も自然に触れ、憩える施設とすることを目指し、具体化に向け関係課と協議を進めます。また、「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理の提供や、高齢者の智慧を活用した伝統的製品の復活・販売により自主運営できる施設の建設なども視野に入れた周辺整備についても、更に研究を進めることが必要です。

## 遠藤まちづくり推進事業

### まちづくりのテーマ

# 新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいまづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

### まちづくり事業

#### 1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

#### 2 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、遠藤地区ポータルサイトを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進するなど、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組みます。

#### 3 避難行動要支援者支援体制整備事業

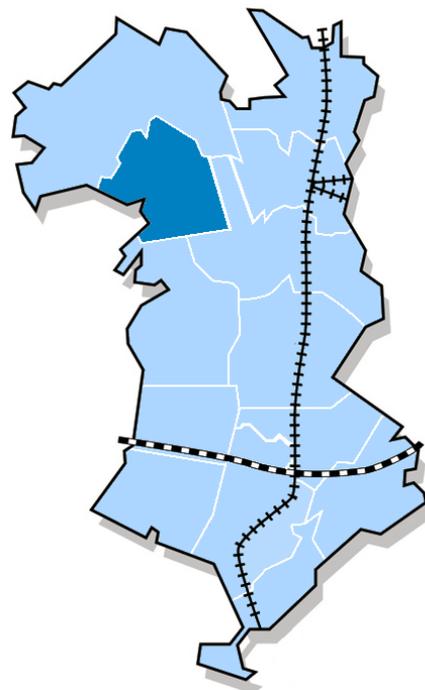
「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。

#### 4 遠藤魅力アップ推進事業

健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取り組みを進め、観光や農業の振興を図ります。

#### 5 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。



## 6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる、安全安心な道路環境を推進するため、地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また、地区内の交通不便地域の解消に向け、調査研究を進めます。

## 7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、今後予定される新たなまちづくりの方向性について、地域団体や関係機関、慶應義塾大学や行政等と連携し、地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通、景観等について検討し、都市拠点機能や観光拠点機能を高め、魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

## 8 伝統文化継承事業

遠藤地区には、本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり、地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ、歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため、子ども達の体験や学習の場、民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ、広報活動に積極的に取り組むことで、担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては、都市拠点として都市機能の充実を図り、地域活力を高める重要な事業であり、地域が行政と連携協力し長期的に取り組む課題となっています。

また、集中豪雨による浸水被害が度々発生しており、地域住民が安全安心に生活できる環境の整備に向け、浸水対策は長期的に取り組む課題となっています。

超高齢化社会が進行するなかで、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう、地域資源のつながりと連携を深め、住民一人一人が互いに支えあう地域社会の実現が、長期的に取り組む課題となっています。

## 長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

### さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

#### 地域活性化事業

##### 1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

##### 2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会する長後版の子育てメッセを開催し、子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の提供、意見交換など地域で子育てを支援していく体制を推進します。

(1) 「長後子育てメッセ」の開催

##### 3 地産地消推進事業

長後地区で栽培されている果物やその他の特産物を紹介するとともに、商店街の活性化にもつながる地産地消のイベントを行います。

(1) 地産地消イベントの実施

##### 4 地域人材発掘・育成事業

地域社会の高齢化等が進む中で、今後の地域コミュニティをさらに発展させていくために必要な人材の発掘や育成について、情報交換の場づくり等の調査研究を行います。

(1) 人材育成講座の開催等

##### 5 ちよご見守りネットワーク事業

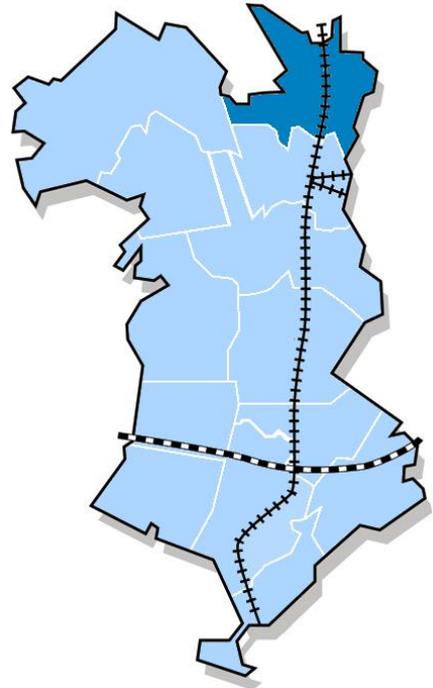
住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図ります。

(1) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携した、見守り・声かけなどの推進

##### 6 観光・歴史資源開拓事業

長後地区内の名所、旧跡の説明板の整備や観光資源の開拓等を行います。

(1) 名所、旧跡説明板の設置等



## 7 交通不便地域移動支援事業

長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行います。

- (1) 住民ニーズの調査
- (2) 移動手段や手法の検討

## 8 花いっぱい運動推進事業

長後地区内の花のボランティア団体の花の植栽活動を支援するとともに、地域の人が親しみを持てる花壇の整備を行い、きれいなまちづくりを進めます。

- (1) 花の広場の管理
- (2) プランターへの花植え等

## 9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

## 10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

---

## 長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤整備の不足を解消する取組が課題となっています。

また、長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により、地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

## 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ”湘南辻堂”

### まちづくり事業

#### 1 生活マナーアップ啓発事業

現在、自転車・ペット・ごみ等の生活マナーの啓発については地域団体によりチラシの配布、キャンペーンの実施、看板の設置等が行われています。

それらの個別的な取組から、地区が一体となって総合的な取組を実施することにより、地域住民や来訪者(観光客)のマナーの向上を図り、地区の生活環境の向上を図ります。

- (1) チラシ・パンフレット等による啓発活動
- (2) キャンペーンの実施
- (3) マナー啓発看板の設置

#### 2 青少年育成推進事業

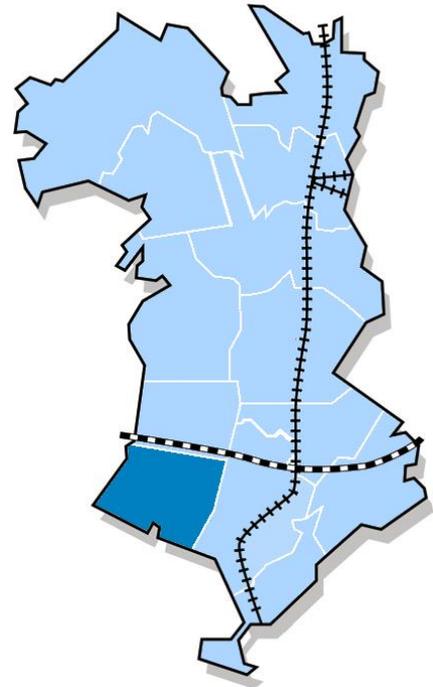
青少年の健全育成については、青少年育成協力会や青少年会館等によって取組が進められていますが、さらに体験学習や地域の子どもと中学校や高校の部活動等との交流を進めるとともに、子どもが安心して屋外で遊べるような地域で子どもを見守る環境づくりをめざし、講演会の開催や、見守りボランティアの育成などに取り組みます。

- (1) 子どもと中学校・高校の部活動等との交流
- (2) 地域スポーツの応援活動
- (3) 青少年の健全育成を目的とした体験学習の実施
- (4) ビーチクリーンやボランティア等地域活動の実施
- (5) 子どもの見守りに関する講演会の開催
- (6) 子ども見守りボランティアの育成
- (7) あいさつ・声かけ運動の推進

#### 3 健康推進事業

「私たちの藤沢 健康都市宣言」に基づき、地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域で健康な生活を続けていくことをめざし健康に関する講座等を開催します。

- (1) 身体を動かす講座の開催
- (2) 手軽に取り組めるスポーツの普及促進講座の開催



- (3) 医療機関と連携した健康講座の開催
- (4) 心のバリアフリーの推進

#### 4 防災対策推進事業

東日本大震災以降、地域で高まった津波への不安を軽減するほか、津波をはじめとする災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施など地域でできる防災対策を進めます。

- (1) 防災対策の推進
- (2) 防災対策講演会の開催

#### 5 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業

地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取組を進めます。

また、地産地消のきっかけづくりを図るため、平成22年度から実施している「辻堂朝市」を引き続き実施します。

- (1) 地域ブランド認定組織の立ち上げ、基準策定、認定、情報発信
- (2) 地域グルメの開発・普及
- (3) 辻堂朝市(地産地消の取組)の実施

#### 6 伝統文化継承事業

地区に伝わる伝統文化についての情報発信や講座の開催などに取り組みます。さらに、地区内に点在する地区の財産である名所旧跡についても、「辻堂ふるさとマップ」を活用した周知や、それらについての説明板の新設や更新を行います。

- (1) 伝統文化についての情報発信
- (2) 伝統文化伝承講座の開催
- (3) 辻堂ふるさとマップによる周知
- (4) 地区内名所旧跡の説明板の新設・更新

#### 7 環境美化キャンペーン事業

地区内の環境の美化を進めるための取組として、現在、地区生活環境協議会等により様々な取組がなされています。その実績を踏まえ、さらに地区内の環境美化を進めるキャンペーン等を行います。

あわせて、まちと自然が調和する辻堂駅南海岸線及びその周辺の美化や辻堂駅南口の美化を推進します。

- (1) 効果的なクリーンキャンペーンの実施方法の検討
- (2) 辻堂駅前美化活動の検討
- (3) 辻堂駅南海岸線及びその周辺の全体的な美化計画の検討

#### 8 商店街活性化イベント実施事業

商店街を活性化するため辻堂商店会連合会などと協働し、商店街を利用するきっかけとなるイベント等の開催を検討します。

また、地元商店街のホームページを充実させ、商店街の買い物、イベント等の情報発信を行います。

- (1) 商店街活性化イベント等の開催の検討
- (2) ホームページ等による商店街の情報発信の充実・推進

## 9 地域拠点施設提言事業

地区における行政サービス提供の拠点であり、災害時には地区の防災拠点となる辻堂市民センター・公民館は、老朽化や駐車スペースの不足など、その機能に様々な課題を抱えています。

市民センターの建て替えの時期にあわせて行ってきた提言の実現に向けて、取り組んでいきます。

- (1) 提言の実現に向けた取組

## 10 道路問題箇所改善事業

地区内の老朽化が進む道路問題箇所などを調査するとともに改善要望等を行います。

- (1) 道路問題箇所の改善要望

## 11 辻堂グリーン回廊事業

地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道などを自転車や徒歩等で巡るグリーン回廊を周知するため案内板等を整備するとともに、グリーン回廊ウォーキングを実施します。

- (1) 「辻堂グリーン回廊」の設定及び情報発信
- (2) 案内板等の設置
- (3) グリーン回廊ウォーキングの実施

---

## 長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

このため、市への提言・提案事項としては、地区防災拠点等の役割も担う辻堂市民センターの建て替えの要望書及び提言書を提出しています。老朽化への対応や地域からの要望が高い防災機能の充実を図るために早期建て替えの必要性があります。

そのほか、辻堂駅北口に大型店舗が進出したことにより、南北の交通渋滞が進んでいるため、この解消を図る南北線の早期開通が望まれています。

## 善行地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

### まちづくり事業

#### 1 地域活動ネットワーク事業

地域住民が地域活動に参加しやすい環境をつくるため、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援します。

- (1) 地域事業にボランティアを誘導する広報紙の発行

#### 2 「ぜんぎょう」を知ろう事業

わがまち「ぜんぎょう」への郷土愛の醸成を図るため、「善行かるた」などを用いて、善行に関する様々な情報を地域住民に提供します。

- (1) 「公民館まつり」への参加による情報発信の支援
- (2) 「善行かるた」の増刷
- (3) まち歩きのカンパニー

#### 3 高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など区内を移動することに不便を感じる方々を支援します。

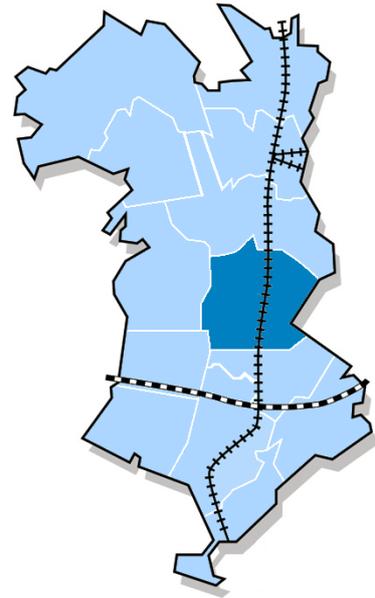
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援

#### 4 活気ある地域づくり事業

活気ある地域づくりを進めるため、自治会・町内会とも協力しながら、地域団体の活動や地域イベントの再構築など、地域の活性化を図ります。

#### 5 つづけよう きれいな善行

きれいで住みよい地域環境を保つため、地域団体と協力しながら、地域の美化推進を図ります。



### 長期的に取り組む地域課題等

地域コミュニティの高齢化・希薄化に歯止めがかかっていない現状を改善し、活発な地域活動を維持・発展させていくため、「担い手」の育成といったソフト的な課題と、活動場所となる公共施設等の確保といったハード的な課題があります。

## 湘南大庭地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

### まちづくり事業

#### 1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣、食事、運動などの改善を図るため、健康寿命を延ばすイベントや講演会を開催、又は協力するなどの取組を推進します。
- (2) 健康に関する専門機関と連携しながら、地区住民にとって身近な施設を利用して、「健康相談事業」を実施し、地区住民の健康増進に取り組みます。

#### 2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は、地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって、道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り、地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間5回実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

#### 3 歩行空間バリアフリー事業

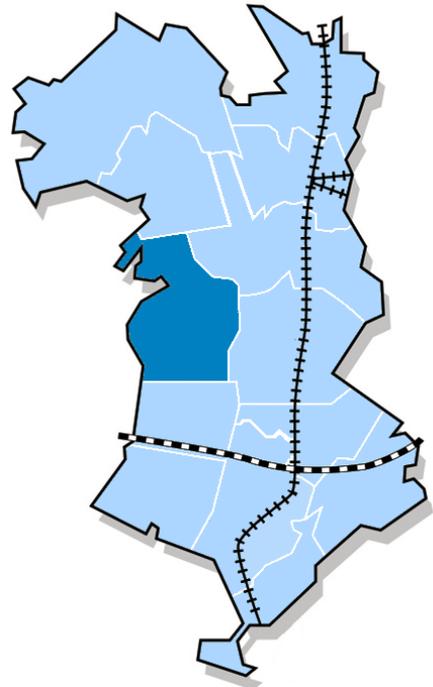
高齢者、障がい者の方々が外出しやすく、円滑に移動することが出来るように、交差点の歩道と車道の擦り付け約150箇所を計画的にバリアフリータイプの構造物に更新し、利便性、安全性の向上を図ることにより、誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指します。

- (1) 歩道段差解消修繕の実施

#### 4 街路樹景観保全事業

辻堂駅遠藤線のケヤキ並木は、まちと自然が調和している街路樹として地域住民から大変親しみを持たれています。この地域資源としても重要なケヤキ約300本の定期的な剪定を実施し、辻堂駅遠藤線の景観を長く保全し維持していきます。

- (1) ケヤキ剪定作業の実施



## 5 健康増進公園改修事業

高齢者のみならず幅広い年齢層の市民が、日頃から身近なところで健康づくりを行えるように、地区内の公園に健康増進遊具を設置して健康増進公園として整備することにより、生き生き健康のまちづくりを推進します。

(1) 健康増進遊具設置工事の実施

## 6 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い、高齢者の自立した生活を支えるため、ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進めます。

(1) 地区内の公園での朝の体操風景が日常化することで、参加者同士が顔見知りになり、人と人とのつながりによる健康づくりのまちを目指す。

## 7 まちづくり課題解決事業

「住みたい 住み続けたいまち、湘南大庭」のまちづくりを目指して、10年後のまちのイメージを描きつつ現在の課題を解決する方策を検討し事業化に取り組みます。

(1) 「高齢者支援」、「子ども・子育て育成支援」、「コミュニティ活動の活性化」の3つのテーマを中心とする課題解決事業を継続して検討する。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

自治会の役員のみならず手がない、世代交代ができない、事業の継続が困難になっているなどコミュニティ活動の活性化が課題となっています。急速に進む高齢化を踏まえて、地域のなかで支援されるとともに支援する側にもなる高齢者が主役となって、子ども・子育て育成支援や高齢者の見守りなどを含めたコミュニティ活動に取り組んでいけるように、先進事例の調査・研究を行いながら具体的方向性と地区の社会資源を生かした事業化を検討していきます。

また、地区内の車椅子で利用することができない公園にスロープを設置するなどの公園のバリアフリー化を検討します。

## 湘南台地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

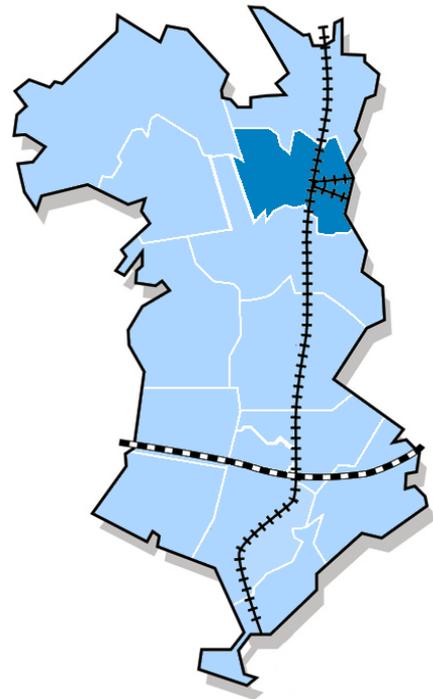
## 川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

### まちづくり事業

#### 1 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

- (1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新
- (2) 緑の回遊路を発信するウォークイベント（湘南台さんぽ、湘南台七福神めぐり）の開催
- (3) 「(仮称)花のまち湘南台」に向けた緑の回遊路の充実



#### 2 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

- (1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

#### 3 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、主に湘南台中学校を卒業し様々な分野で活躍する先輩を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

- (1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

#### 4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。

- (1) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」の開催
- (2) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」修了者の地域活動参加の促進

## 5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下イベント広場を有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下イベント広場での多目的イベントの開催
- (2) 駅地下イベント広場での展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念される状況にあります。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。さらに、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土づくりを進め、満足度の高いまちづくりを目標に、地域特性を生かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが地区の課題です。

## 鵠沼地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵠沼

### まちづくり事業

#### 1 鵠沼元気塾・鵠沼元気ひろば事業

2013年（平成25年）4月から鵠沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として鵠沼元気塾を開始。2016年（平成28年）4月からは地区北部への拡大を図り鵠沼元気ひろばを開始。子どもたちが、地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて豊かな人間性を育むことを目的としています。内容は学校の宿題等の学習と地域スタッフの企画による実験などの共通体験学習。

#### 2 鵠まつり事業

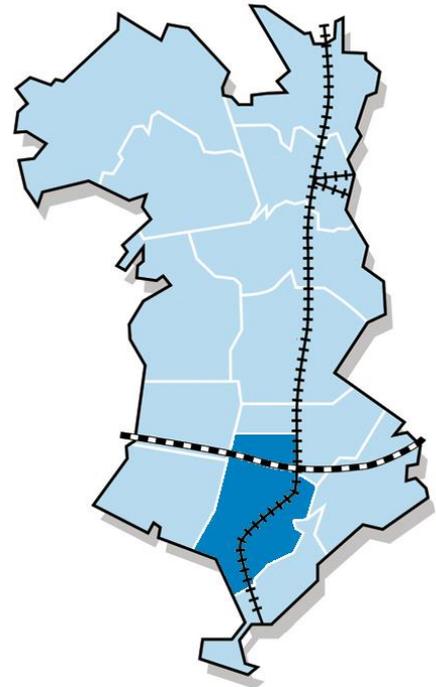
2009年（平成21年）から鵠沼のまちおこしとして鵠沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵠沼魚醤を使った創作料理や、鵠沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。

#### 3 認知症対策事業

地域において認知症への理解を深めるために講座や講演会を開催するほか、認知症の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

#### 4 公園見直し事業

地区内に早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、計画的に出入口の段差の解消、水飲場の改修等のバリアフリー化を行います。



### 長期的に取り組む地域課題等

鵠沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路や地区防災拠点としての鵠沼市民センターのあり方など長期的な課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

## 歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

### まちづくり事業

#### 1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用した地域イベント等を実施する活動を支援するとともに、より多くの方々が藤沢宿を訪れることによって、地区ににぎわいをもたらし、藤沢宿のさらなる活性化を図ります。

- (1) トランスボックスラッピングの維持管理
- (2) 藤沢宿まつりへの支援
- (3) 三宿連携事業への支援
- (4) 藤沢宿のPR

#### 2 西富憩いの森検証事業

誰もが身近に自然とふれあうことのできる憩いの場であり、地区内の貴重な緑地である西富憩いの森について、政策提言「『西富憩いの森』充実」の提言」を踏まえての再整備を行うことで、地域における多世代交流の促進を図ります。

- (1) 散策路の整備
- (2) 活用方法の検討

#### 3 地域緑化運動事業

藤沢地区における斜面緑地などを含む都心部の緑は、地域にとって貴重な財産であり、本市の市街地中心部にあって良好な自然的環境や景観を形成し、市民の生活に快適さや潤いをもたらしています。

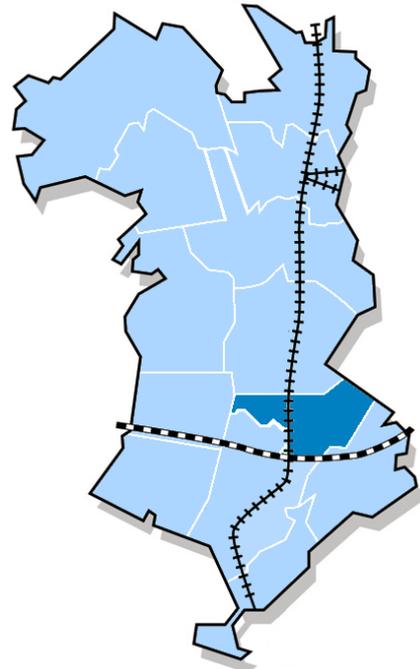
今後も緑豊かな潤いのある快適な生活環境の継続的な確保や市街地景観の形成・向上に向けて、緑の保全・緑化を推進し、身近な緑地の整備を進めます。

- (1) 地域の緑地の保全・整備

#### 4 地域の魅力発見事業

藤沢地区は古くからの街なみが今もなお残されており、旧藤沢宿にちなんだ寺社や建物を訪ねて多くの観光客が来ています。

こうした歴史と文化を併せ持つ、藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、古くから桜の名所として知られている伊勢山公園周辺の整備を行い、地域の活性化に繋げて



いきます。

- (1) 伊勢山公園の桜の植樹，花壇などの整備

## 5 交通安全対策事業

藤沢地区は，JR・小田急線藤沢駅，小田急線藤沢本町駅周辺に通勤，通学あるいは買い物を目的とした自動車・バイク・自転車が集中するとともに，地区内を国・県道等の幹線道路が通過するなど，交通事故が発生しやすい道路環境となっています。

こうしたことから，地域の交通事故の発生場所を記したマップを作成し，地域住民に周知することにより，事故の防止を図ります。

- (1) 藤沢地区交通安全マップの更新

## 6 子どもの見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図り，学校登下校時の子どもの見守り活動や，いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心・快適な環境づくりを進めます。

- (1) 関係団体による情報交換会の開催
- (2) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

今後取り組む予定の地域課題としては，小田急線藤沢本町駅周辺の利便性の向上を図るため，藤沢本町駅周辺検証事業についてさらなる取組を検討します。

また，高齢者や障がい者が暮らしやすいまちとなるよう，地域生活改善事業についてさらなる取組を検討します。

なお，今後検討が予定される市への提言事項としては，緑地など，地域環境の向上を図ることを目的に，(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備検証事業，公共施設のあり方検証事業などがあります。

## 村岡いきいきまちづくり事業

### まちづくりのテーマ

**ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか**

### まちづくり事業

#### 1 マナーアップ啓発事業

マナーやモラルについて責任ある行動を取ることにより、迷惑行為のない生活環境の実現を目指し、自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方など地域生活を営む上でのマナーやモラルの意識の向上に向けた事業を実施します。

- (1) ごみやたばこのポイ捨て等の禁止看板の作成及び自治会・町内会への配布
- (2) 自転車の安全な乗り方のマナーアップの啓発

#### 2 村岡あいさつ運動事業

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長と安全・安心な環境づくりのため、これまでの地域住民による登下校時の児童や隣人に対する声掛け運動をさらに充実させるとともに、こうした声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。

- (1) 地区内小中学校の登下校時にあわせ、児童・生徒に対しあいさつ運動キャンペーンを実施
- (2) 横断幕の設置

#### 3 公園環境整備防犯対策事業

地域の子どもたちがのびのびと健やかに育つために、公園の環境整備を実施するとともに、防犯の観点から、夜間暗い公園には照明灯を整備します。

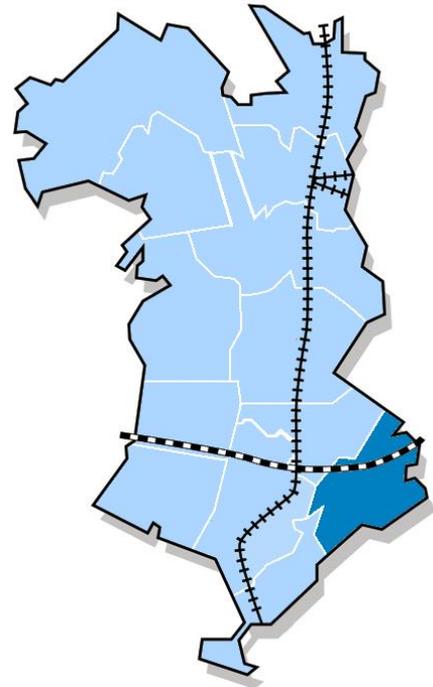
- (1) 公園小型遊具の整備の検討
- (2) 照度・省エネなどに配慮し、災害時にも有効なソーラーシステム蓄電池LED照明灯を整備

#### 4 地域防災力強化事業

地域防災力を強化するため、「地域防災ネットワークづくり」を進め、地域住民や団体、民間事業者、NPO、医療機関などの地域防災の担い手同士が顔の見える関係を構築します。

また、災害時における生活用水確保のための啓発事業を実施します。

- (1) 「地域防災ネットワークづくり」の推進



- (2) 災害時における生活用水確保のため、雨水貯留槽設置の推進
- (3) 災害ボランティアコーディネーターの育成

## 5 健康づくり推進事業

子どもから高齢者，障がいのある方まで，地域の誰もが心豊かで健康に過ごすため，地域での健康づくり事業を推進します。

- (1) 各自治会・町内会でラジオ体操の推進を図る
- (2) 街区公園等への健康遊具設置について市と連携を図る

## 6 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に安全・安心なまちづくりを進めるため，児童の下校時における見守りをはじめとした防犯活動を支援・推進します。

- (1) 安全安心ステーションや一日移動交番の有効活用
- (2) 愛犬家を対象としたドッグパトロールの推進

## 7 歩道等通行環境整備事業

住む人，働く人，訪れる人，誰もが安心して快適に過ごせ，これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりのため，道路環境，特に子ども，高齢者，障がいのある方など歩行者の安全確保のための整備を中心に進めます。

- (1) 主要幹線歩道のバリアフリー化の実施（段差解消等の整備）
- (2) U字型側溝の安全化の整備（路肩歩行空間の確保）

## 8 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め，美しく住みよい地域社会を築き，生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 公園愛護会の組織化及び公園等の緑化の推進
- (2) 地区一日清掃の実施
- (3) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講演会等の実施

## 9 自治会加入促進事業

自治会・町内会の活発な活動は，防犯・防災などに大きな力を発揮することから，自治会・町内会への加入促進を図り，地域の連帯と助け合いの精神を醸成します。

- (1) 自治会・町内会未加入世帯に対し，加入促進リーフレットの配布

## 10 史跡案内板設置事業

地域の歴史的財産、自然的資源の素晴らしさを広く地域住民に周知を図るため，名所・史跡の所在を表すサインポールや総合案内板を設置及び歴史や魅力を知るためのパンフレットの配布を行い，郷土愛あふれた「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) サインポールや総合案内板の設置
- (2) パンフレット・リーフレットの配布及び更新

## 11 高齢者見守り事業

地域包括支援センター、地域の民生委員や地域団体等が連携し、支援を必要とする高齢者の把握と見守る支援体制は市を中心に構築されていますが、高齢者が安心して暮らすことができる地域づくりのため、地域独自の事業の構築を目指します。

- (1) 地区内の福祉を中心とした情報を紹介する広報誌の作成
- (2) 高齢者見守り活動通報マニュアルの作成

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

平成22年度に、村岡新駅を中心としたまちづくりの実現に向けて取り組むための指針として策定した「村岡地区まちづくり計画」の実施に向けた取組及び県道横浜藤沢線の川名以南の延伸を将来的な長期課題としています。



藤沢市市政運営の総合指針2020  
—郷土愛あふれる藤沢をめざして—  
事業集

(平成29年度版)

企画政策部 企画政策課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>